

介護職員・看護職員等実態調査 介護施設等における入退所調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画、
武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画策定に係る調査)

報告書

令和8年3月

武蔵野市

目次

第1章 調査実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 回収状況	3
6. 報告書の記載に関する注意点	3
第2章 介護職員・看護職員等実態調査結果	4
【事業所票】	
1. 事業所の属性	4
2. 介護職員の確保に向けて実施している取組み	13
【職員票】	
1. 回答者の属性	22
2. 地域包括ケア人材育成センターについて	38
3. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向	40
4. 外国人介護職員の受け入れに対する考え	44
5. 武蔵野市で働き続けるために市に求めること	45
6. 1週間の訪問サービスにおける提供時間	46
第3章 介護施設等における入退所調査結果	48
1. 施設等の概要	48
2. 医療処置を受けている人数	54
3. 過去2年間の入所・入居者数	56
4. 過去2年間の退所・退居者数	59
5. 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ	64
6. 入居・入所者の退去理由	68
資料：使用した調査票	71

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

武蔵野市（以下「市」という。）では、令和8年度に高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画、障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画の策定を予定している。計画策定に備え、今後の市における人材の確保・育成や、高齢者や障害のある方が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために調査を実施した。

2. 調査対象

○介護職員・看護職員等実態調査

事業所票

市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長を対象とした。

職員票

市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームに所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員等（以下、介護職員・看護職員等）を対象とした。

○介護施設等における入退所調査（入退所票）

市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者、及び市民を受け入れている市外の特別養護老人ホームの施設長を対象とした。

なお、事業所におけるサービスの種類について、より傾向を把握しやすくすることを目的として、以下のように分類を行った。

サービスの種類	介護保険法に定められたサービス				障害者（児）を対象としたサービス								その他のサービス	
	訪問系	通所系	施設・居住系	看多機	訪問系	日中活動系	施設・居住系	就労系	訓練系・サービス	児童の	障害児相談	相談支援・	その他	住宅系
訪問介護	○													
訪問型サービス（総合事業）	○													
訪問入浴介護	○													
訪問リハビリテーション	○													
訪問看護（介護保険）	○													
通所介護		○												
通所型サービス（総合事業）		○												
地域密着型通所介護		○												
通所リハビリテーション		○												
短期入所生活介護			○											
短期入所療養介護			○											
特定施設入居者生活介護			○											
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	○													
夜間対応型訪問介護	○													
看護小規模多機能型居宅介護				○										
認知症対応型通所介護		○												
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）			○											
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			○											
介護老人保健施設			○											
介護療養型医療施設			○											
居宅介護、重度訪問介護					○									
同行援護					○									
行動援護					○									
移動支援													○	
訪問看護（障害者（児））					○									
生活介護						○								
短期入所						○								
共同生活援助							○							
自立生活援助							○							
施設入所支援							○							
自立訓練(機能訓練)、自立訓練(生活訓練)								○						
就労移行支援								○						
就労継続支援 A型								○						
就労継続支援 B型								○						
就労定着支援								○						
児童発達支援、放課後等デイサービス									○					
地域移行支援・地域定着支援											○			
計画相談支援・障害児相談支援											○			
日中一時支援												○		
サービス付き高齢者向け住宅														○
住宅型有料老人ホーム														○
軽費老人ホーム（ケアハウス）														○

3. 調査方法

介護サービス及び障害福祉サービスの施設・事業所に事業所票、職員票、入退所票の依頼状一式を送付し、各施設・事業所にて、各調査の対象宛に依頼状を配布するように案内（事業所票及び入退所票は施設長・管理者に、職員票は介護職員・看護職員等に配付した）。前回の調査は紙面での回答を依頼したが、今回はいずれの調査も Web での回答を依頼した。

4. 調査期間

令和7年12月1日から令和7年12月22日まで

5. 回収状況

調査名	事業所票		職員票
	対象事業所数	回収数（回収率）	回収数
介護職員・看護職員等 実態調査	264	136（51.5%）	680
介護施設等における 入退所調査	31	17（54.8%）	—

6. 報告書の記載に関する注意点

- 1 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- 2 調査結果の比率は、その設問の回答者数を奇数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- 4 図表中「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または判別が困難なものである。
- 5 語句が長い選択肢については、本文及びグラフ中では省略した表現を用いている場合がある。
- 6 クロス集計において、軸になる設問の「無回答」の数値は掲載していない。

第2章 介護職員・看護職員等実態調査結果

【事業所票】

1. 事業所の属性

問1 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。
(令和7年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0 (ゼロ)」と記入

<介護職員>

	件数	平均	最大値	最小値
常勤全体	136	6.3	48	0
介護サービス	92	7.3	48	0
障害福祉サービス	44	4.2	35	0
非常勤全体	136	6.7	144	0
介護サービス	92	8.1	144	0
障害福祉サービス	44	3.8	22	0

<看護職員>

	件数	平均	最大値	最小値
常勤全体	136	1.6	25	0
介護サービス	92	2.2	25	0
障害福祉サービス	44	0.4	9	0
非常勤全体	136	1.4	14	0
介護サービス	92	2.0	14	0
障害福祉サービス	44	0.2	3	0

<リハビリテーション職員>

	件数	平均	最大値	最小値
常勤全体	136	0.8	37	0
介護サービス	92	1.1	37	0
障害福祉サービス	44	0.1	3	0
非常勤全体	136	0.5	10	0
介護サービス	92	0.7	10	0
障害福祉サービス	44	0.1	4	0

1 事業所あたりの職員数の平均値をみると、

- ・介護職員は常勤職員が 6.3 人、非常勤職員が 6.7 人だった。
- ・看護職員は常勤職員が 1.6 人、非常勤職員が 1.4 人だった。
- ・リハビリテーション職員は、常勤職員が 0.8 人、非常勤職員が 0.5 人だった。

問2 介護職員について、外国人職員と派遣職員の総数を実人数でそれぞれお答えください。
(令和7年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0 (ゼロ)」と記入

<外国人職員>

	件数	平均	最大値	最小値
全体	14	4.3	15	1
介護サービス	14	4.3	15	1
障害福祉サービス	0	0.0	0	0

<派遣職員>

	件数	平均	最大値	最小値
全体	24	3.5	15	1
介護サービス	19	4.1	15	1
障害福祉サービス	5	1.2	2	1

※「件数」は、外国人職員／派遣職員が1人以上在籍すると回答した事業所数を指す。

1 事業所あたりの職員数の平均値をみると、

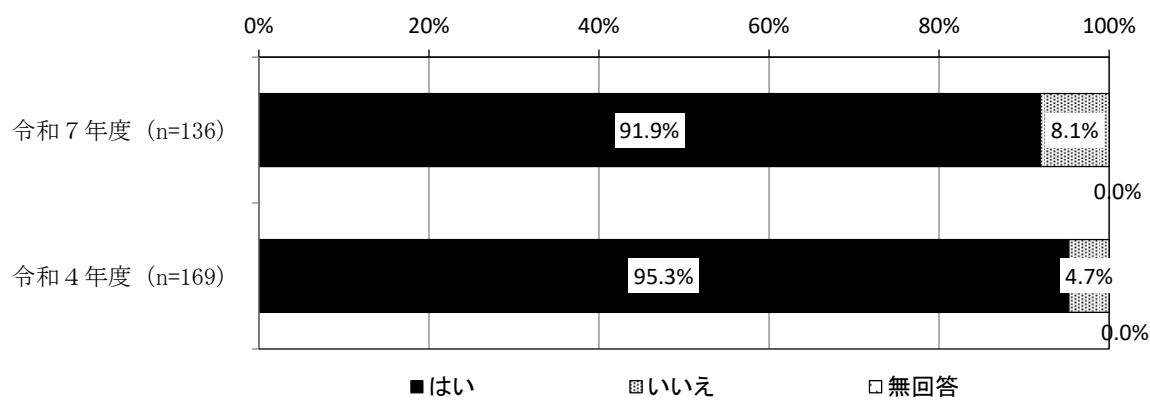
- ・外国人の介護職員は0.4人だった。
- ・派遣の介護職員は0.6人だった。

問3 外国人介護職員について、在留資格別の人数を実人数でお答えください。(令和7年10月1日現在) ※数値を記入、いない場合は「0(ゼロ)」と記入

在留資格	件数	平均	最大値	最小値
EPA(特定活動)	14	1.79	14	0
在留資格「介護」	14	0.21	2	0
技能実習	14	0.50	4	0
特定技能1号	14	0.71	5	0
その他の在留資格	14	1.07	4	0

外国人介護職員が1人以上在籍していると回答した施設・事業所(14件)に、在留資格別の人数を尋ねた。1事業所あたりの職員数の平均値をみると、EPAは1.79人、在留資格「介護」は0.21人、技能実習は0.50人、特定技能1号は0.71人、その他の在留資格は1.07人だった。

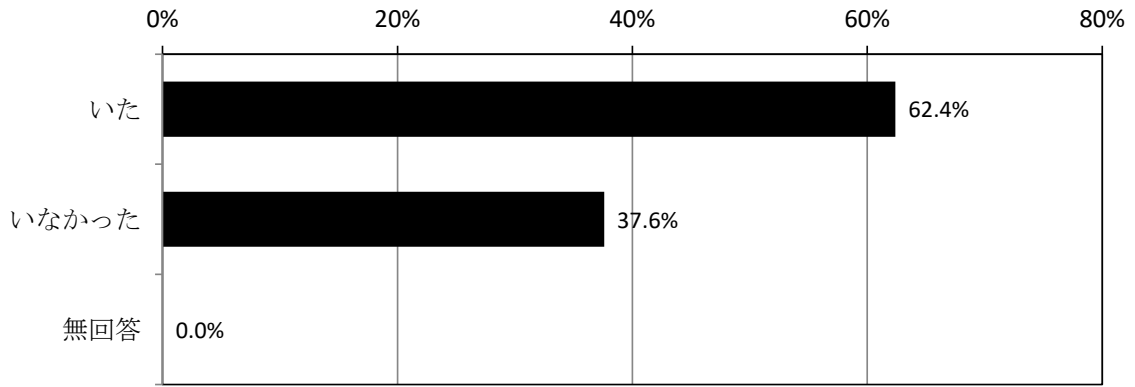
問4 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から1年以上経過していますか。 ※あてはまるもの1つに「○」



開設から1年以上経過している施設・事業所は、91.9%であった。

問5 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）において、介護職員の採用者や離職者はいましたか。※あてはまるもの1つに「○」

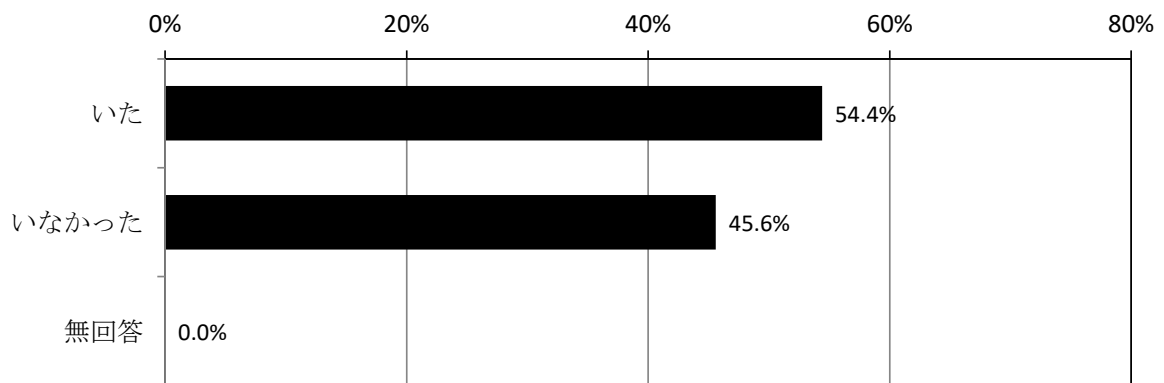
<採用者>



■令和7年度(n=125)

過去1年間において、介護職員の採用者がいた施設・事業所は62.4%であった。

<離職者>

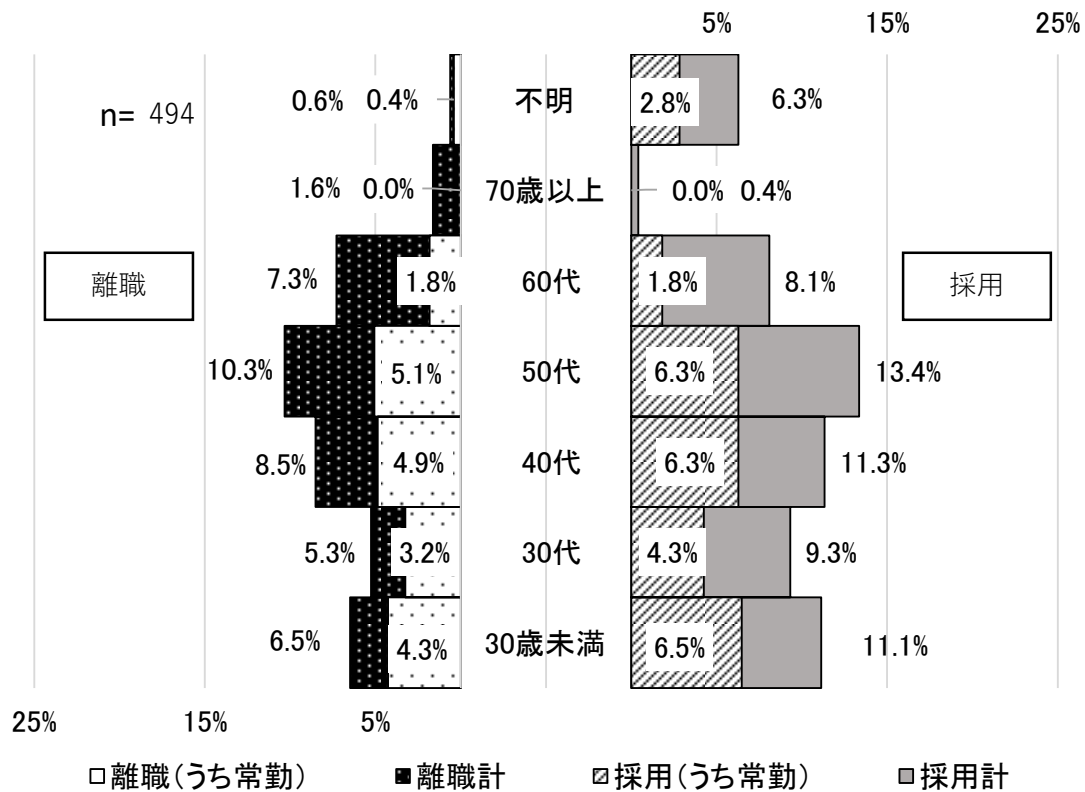


■令和7年度(n=125)

過去1年間において、離職者がいた施設・事業所は54.4%であった。

問6 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の介護職員の採用者数と離職者数を年齢別に実人数でお答えください。

※数値を記入、いない場合は「0（ゼロ）」と記入



	離職者数（うち常勤職員）	採用者数（うち常勤職員）	増減数（採用者数－離職者数） （うち常勤職員）
合計	198人（97人：49.0%）	296人（138人：46.6%）	98人（41人：41.8%）

※開設から1年以上経過している施設・事業所（125件）のうち、回答のあった事業所を集計

※上記グラフに示されている割合は、採用者数と離職者数の合計（494人）に対する割合を示す。

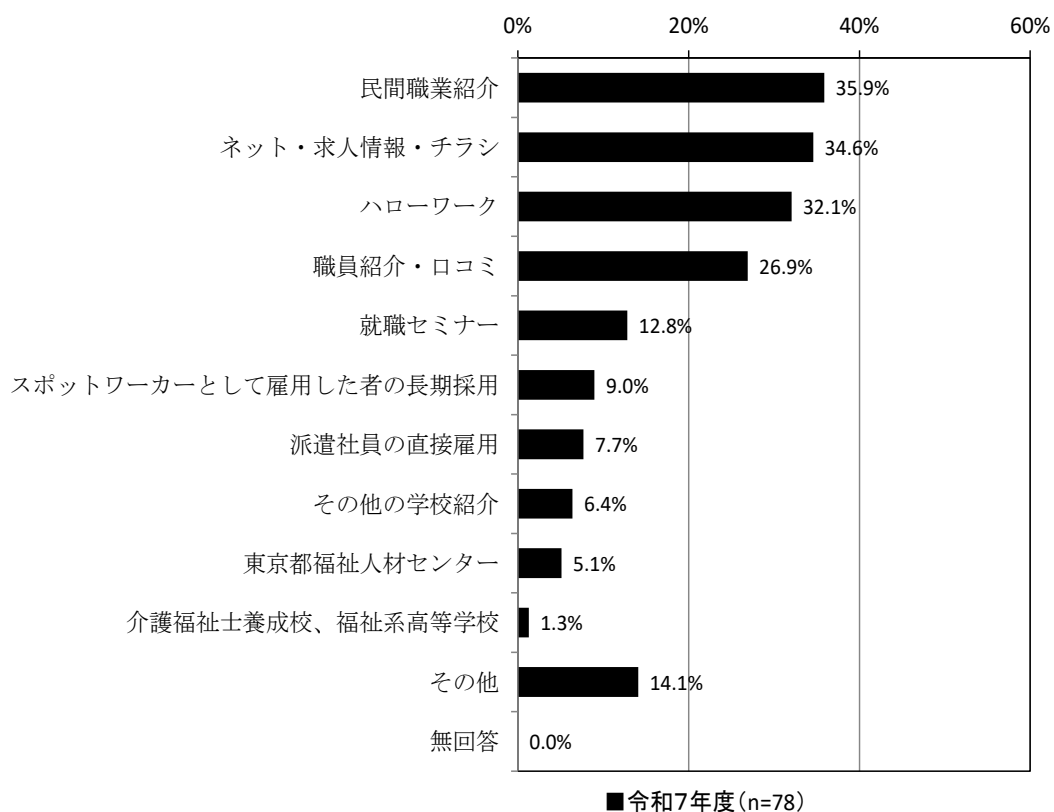
回答事業所全体の過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数を年代別にみると、「70歳以上」を除いた全ての年代で、採用者数が離職者数を上回っている。

「採用者数」は合計296人で、うち常勤職員は138人、採用者合計に占める常勤職員の割合は46.6%だった。

また、「離職者数」は合計198人で、うち常勤職員は97人、離職者合計に占める常勤職員の割合は49.0%だった。

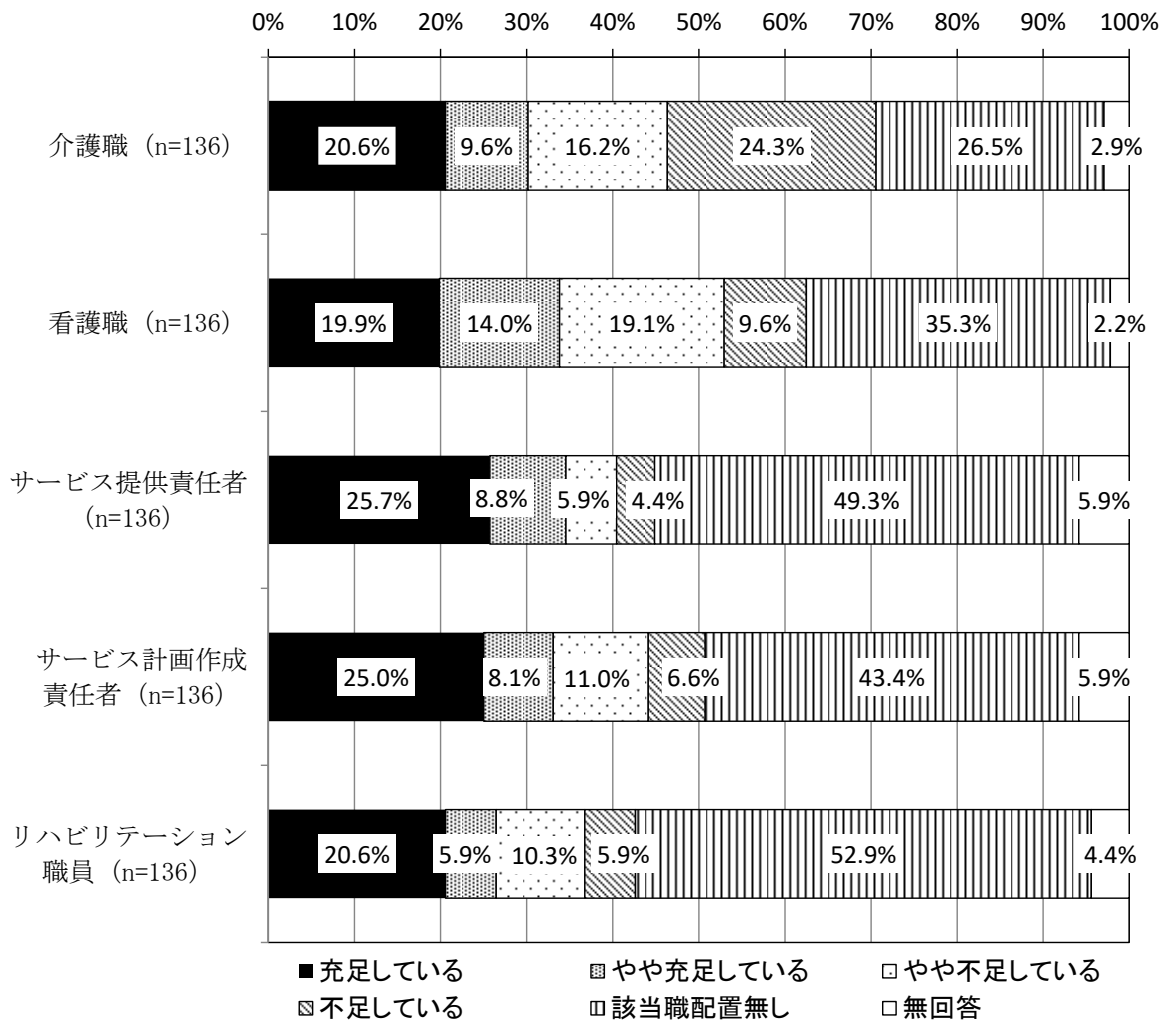
「増減数（採用者数－離職者数）」は98人だった。

問7 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に採用した方の採用ルートをお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



過去1年間に介護職員の採用者が「いた」と回答した施設・事業所（78件）に、過去1年間の採用者の採用ルートを尋ねたところ、「民間職業紹介」が35.9%と最も高く、次いで「ネット・求人情報・チラシ」が34.6%、「ハローワーク」が32.1%となっている。

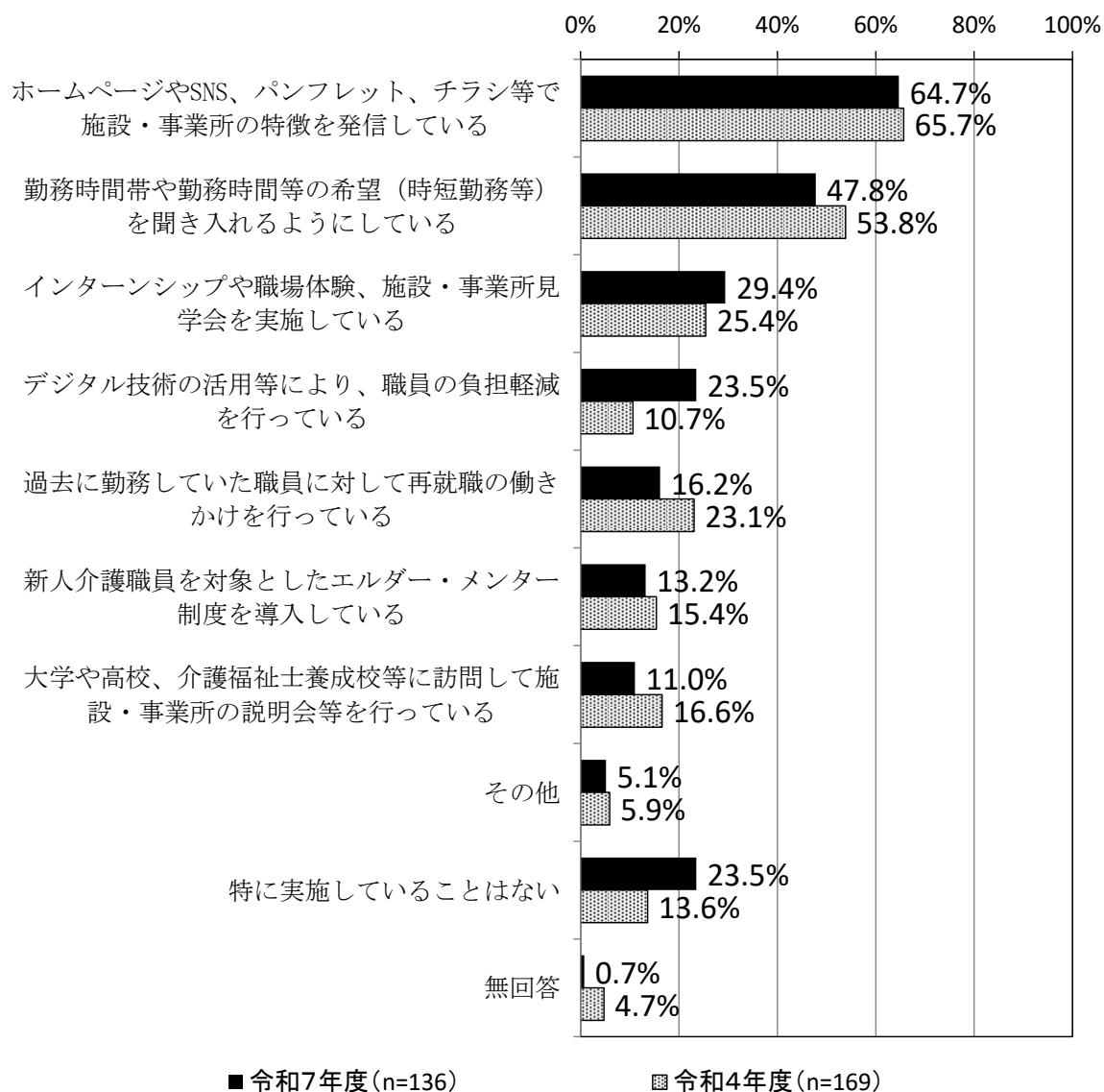
問8 貴施設・事業所で配置している職員の充足感についてお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



職員の充足感については、介護職における「不足している」の割合が高く、24.3%だった。

2. 介護職員の確保に向けて実施している取組み

問9 介護職員の確保に向けて実施している取組みについてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」

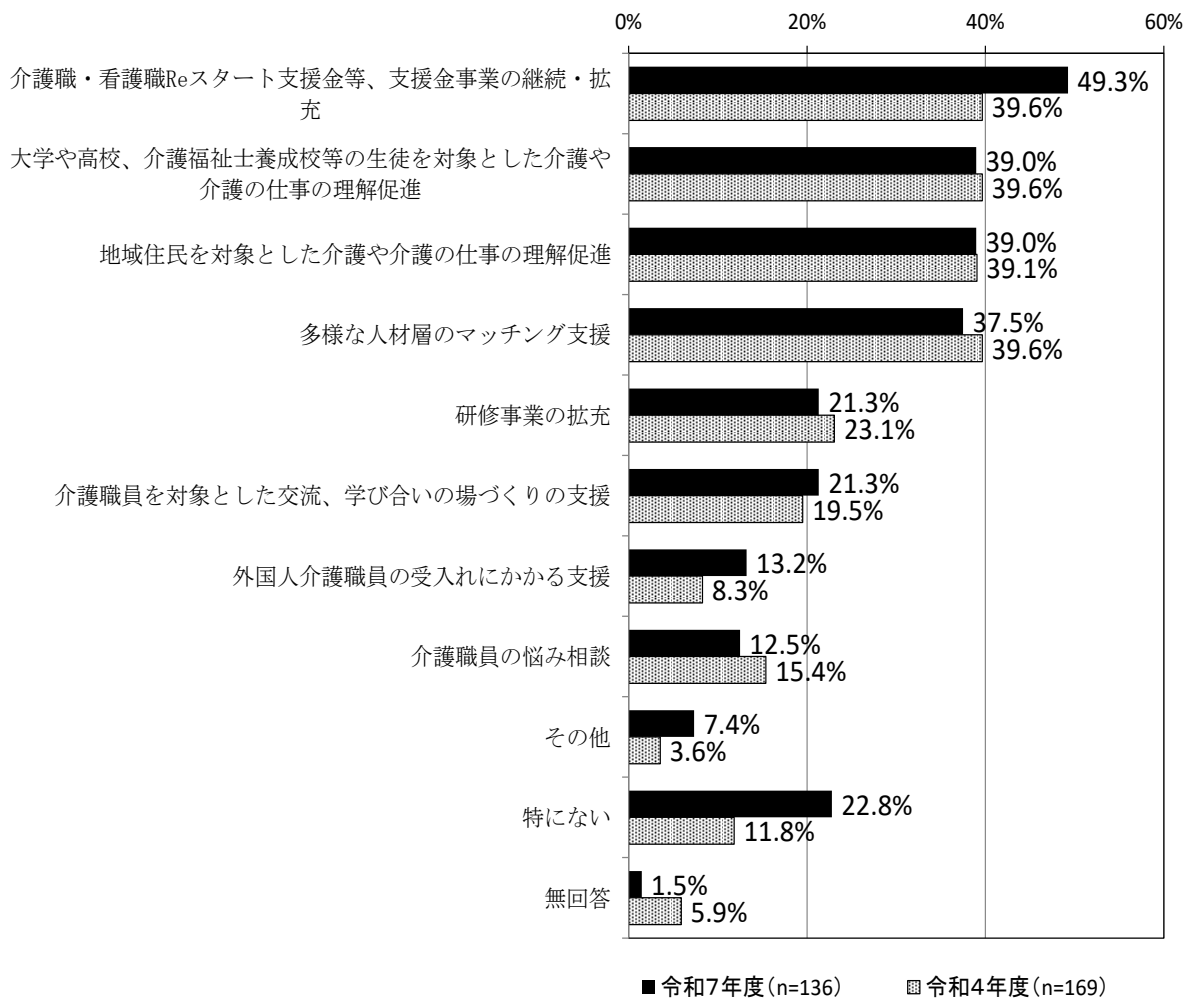


(注)「デジタル技術の活用等により、職員の負担軽減を行っている」の選択肢について、令和4年度調査の「介護ロボットの活用やICT活用等により、職員の負担軽減を行っている」から表現を変更した。

介護職員の確保に向けて実施している取組みについては、「ホームページやSNS、パンフレット、チラシ等で施設・事業所の特徴を発信している」が64.7%、「勤務時間帯や勤務時間等の希望（時短勤務等）を聞き入れるようにしている」が47.8%となっている。

「その他」には、「近隣施設との連携（退職者の受け入れ、送り出し調整）」、「民間派遣会社、紹介会社、外国人雇用会社等への声掛け」、「介護職員の紹介制度」等の回答がみられた。

問 10 介護職員の確保に関して市に求める支援についてお答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」



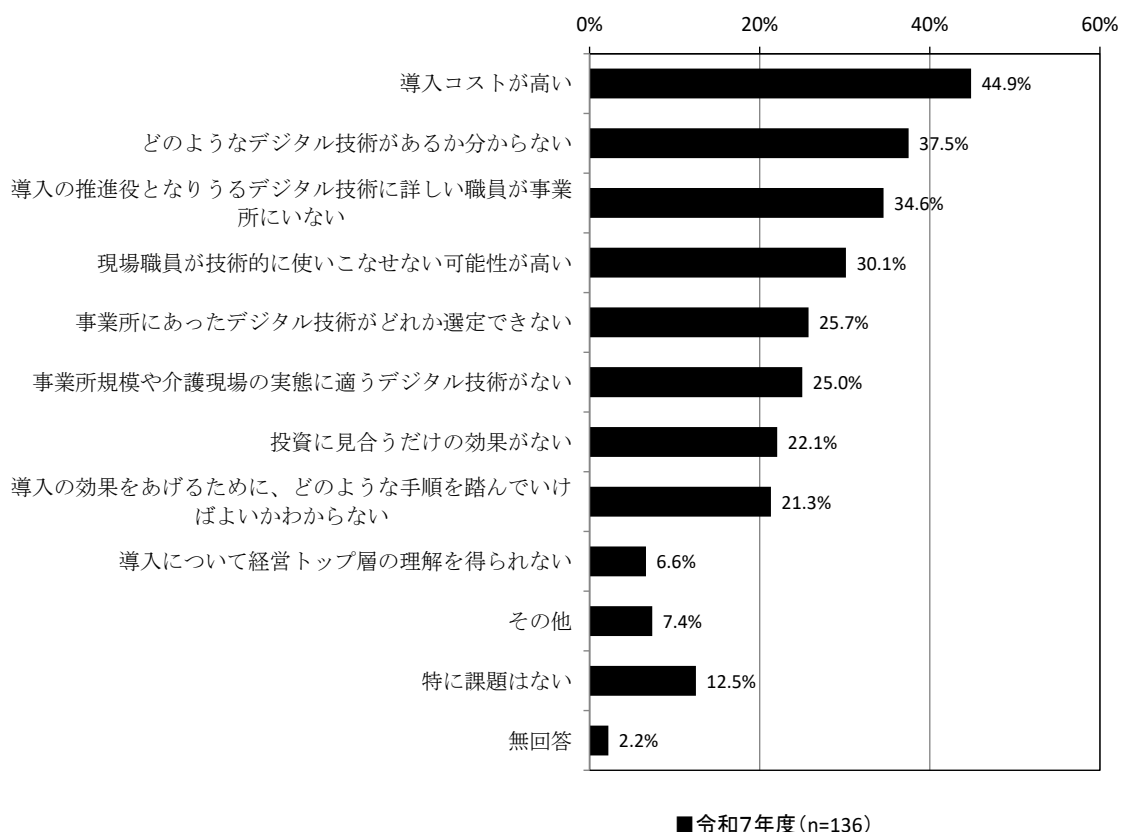
介護職員の確保に関して市に求める支援は、「介護職・看護職 Re スタート支援金等、支援金事業の継続・拡充」が 49.3%、「大学や高校、介護福祉士養成校等の生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」、「地域住民を対象とした介護や介護の仕事の理解促進」が 39.0%となっている。

「その他」には、「介護職員の処遇改善」、「他市区にはない支援や優遇制度、市内在住在勤者対象の減税や家賃補助など」、「必要な介護保険関係の手続きの簡素化」等の回答がみられた。

問 11 デジタル技術の導入において、課題と感ずること何ですか。直接的なケアと間接的業務^(※)のそれぞれについて、お答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」

(※) ここでいう「直接的なケア」は食事介助、排泄介助、衣類の着脱介助、入浴介助などの身体介護や、掃除、洗濯などの生活援助といった、利用者に直接接しながらサービスを提供する業務のことを指します。また、「間接的業務」は情報の記録・入力や各種会議、研修への参加など、利用者とは直接接しない形で行う業務のことを指します。

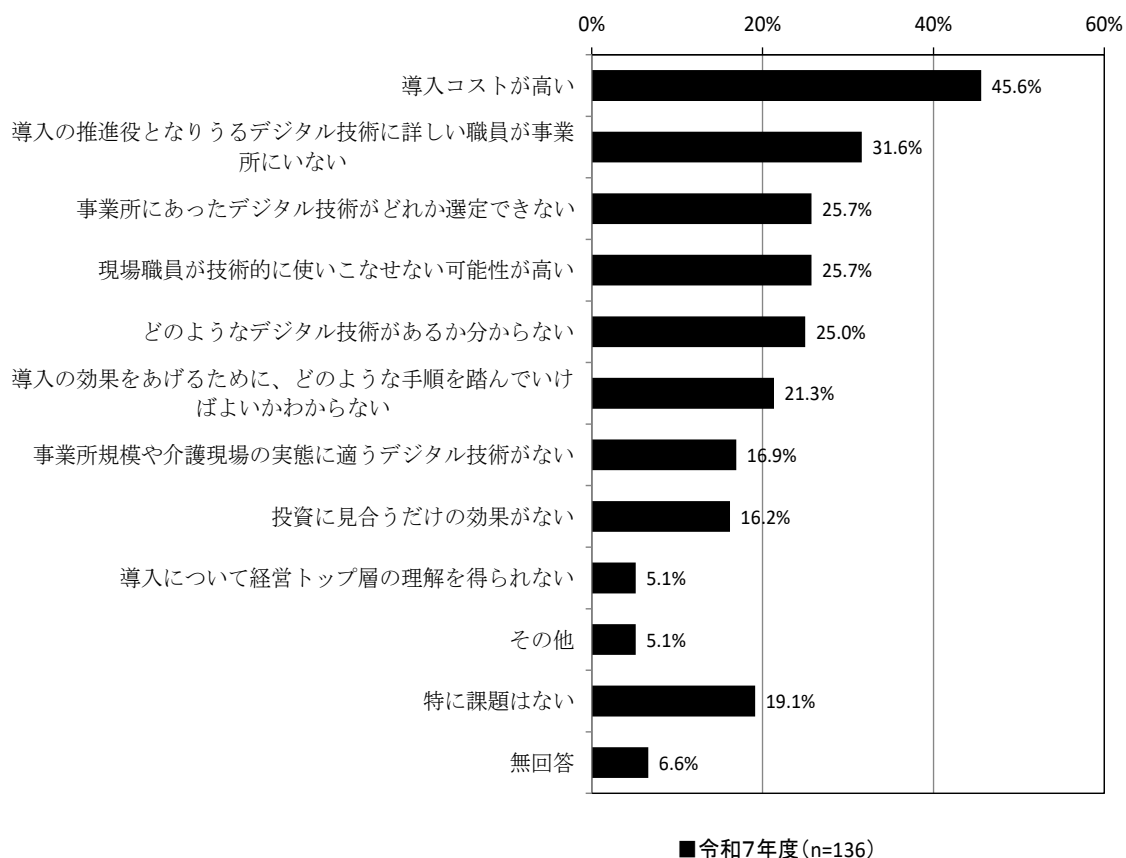
<直接的なケア>



デジタル技術の導入において、課題と感ずること（直接的なケア）は、「導入コストが高い」が44.9%、「どのようなデジタル技術があるか分からない」が37.5%となっている。

「その他」には、「補助申請対象の場合の手続き方法が煩雑」等の回答がみられた。

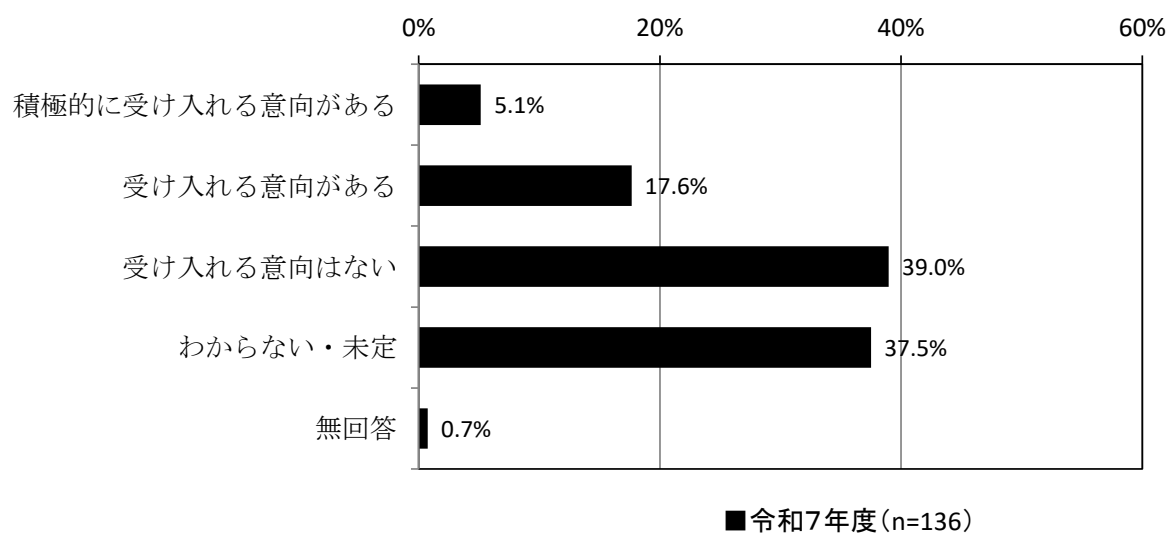
<間接的業務>



デジタル技術の導入において、課題と感ずること（間接的業務）は、「導入コストが高い」が45.6%、「導入の推進役となりうるデジタル技術に詳しい職員が事業所にいない」が31.6%となっている。

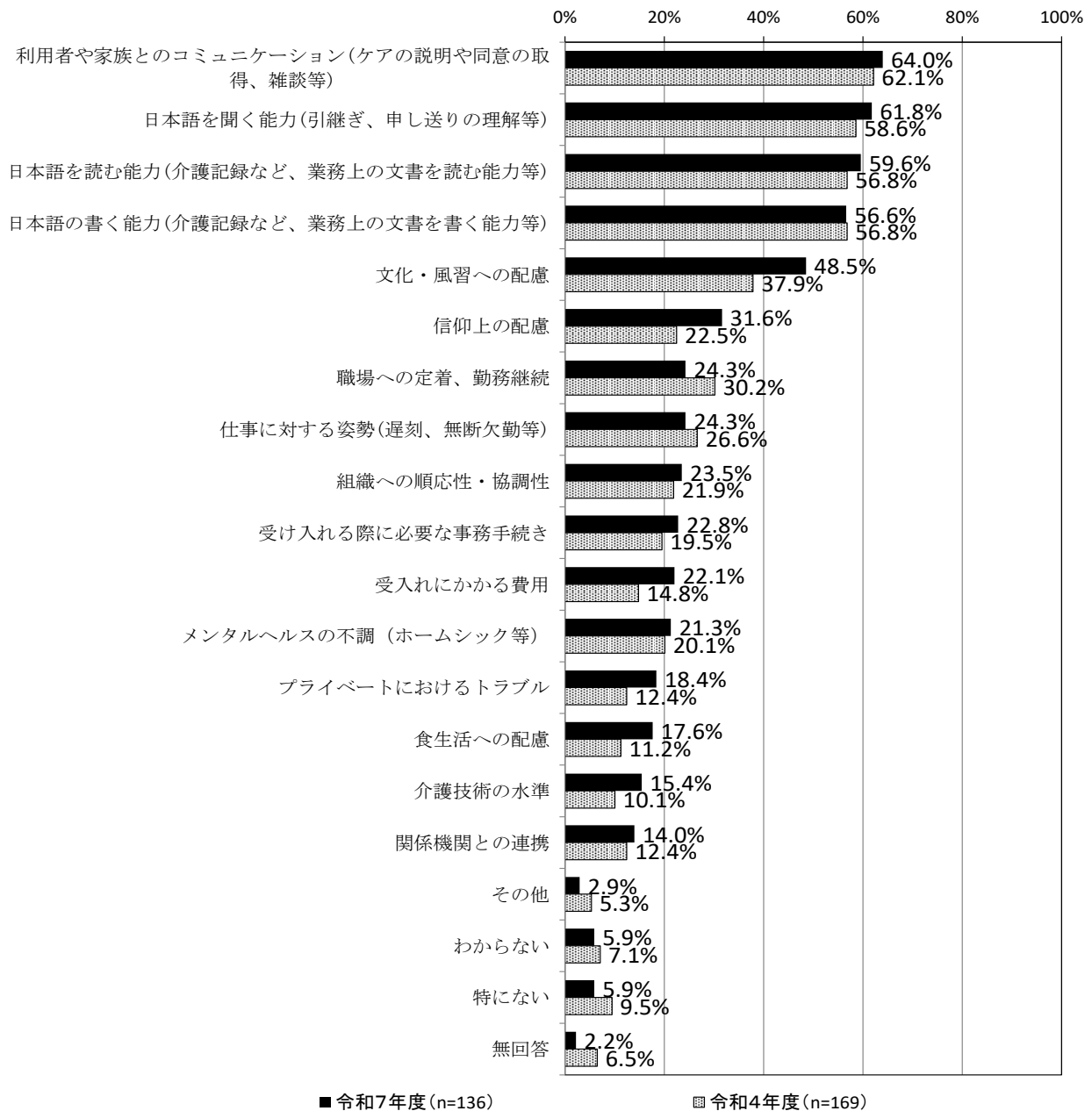
「その他」には、「補助申請対象の場合の手続き方法が煩雑」等の回答がみられた。

問 12 今後3年間の、外国人介護職員の受入れの意向をお答えください。 ※あてはまるものの1つに「○」



外国人介護職員の受入れの意向は、「受け入れる意向はない」の割合が39.0%と最も高く、次いで「わからない・未定」が37.5%となっている。

問 13 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは何ですか。 ※あてはまるものすべてに「○」

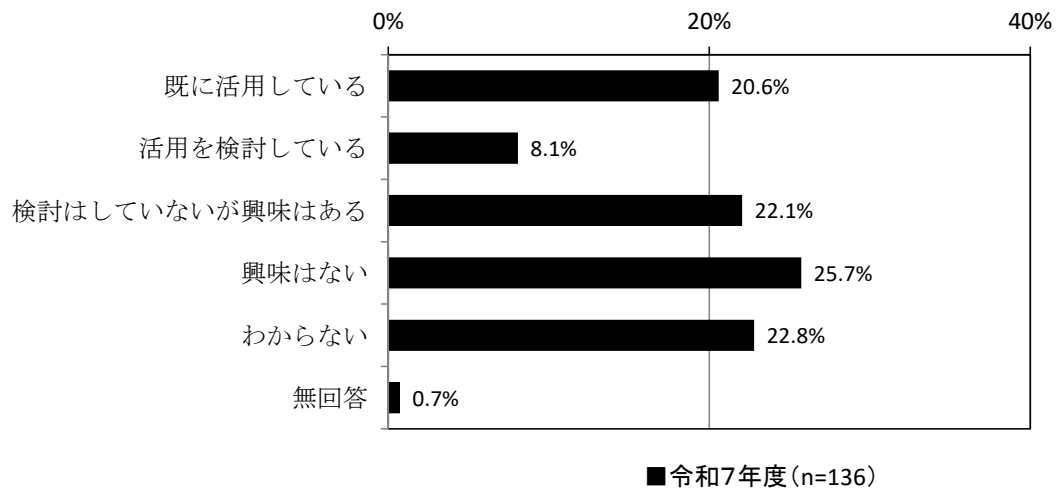


外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは、「利用者や家族とのコミュニケーション(ケアの説明や同意の取得、雑談等)」が64.0%と最も高く、次いで「日本語を聞く能力(引継ぎ、申し送りの理解等)」が61.8%、「日本語を読む能力(介護記録など、業務上の文書を読む能力等)」が59.6%であった。

「その他」には、「地域の外国人介護職同士の交流促進」、「資格上のハードルの高さ」との回答がみられた。

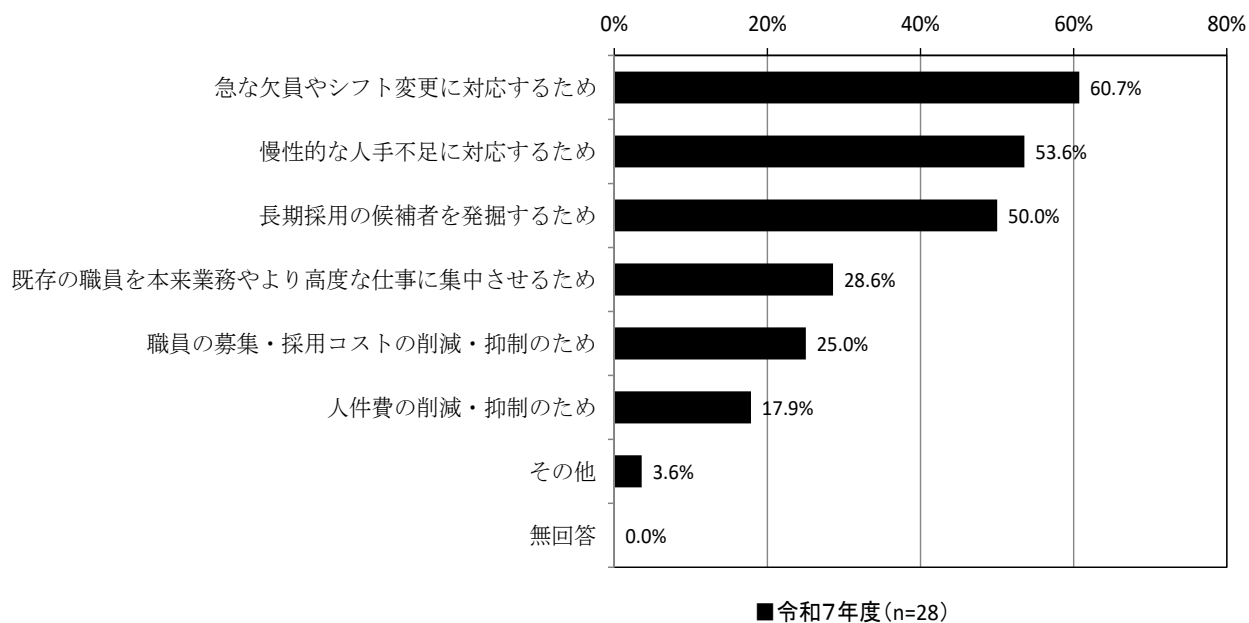
問 14 スポットワーカー^(※)の活用状況についてお答えください。※あてはまるものすべてに「○」

(※) ここでいう「スポットワーカー」とは、短時間・単発の就労を内容とする雇用契約のもとで働く労働者を指します。



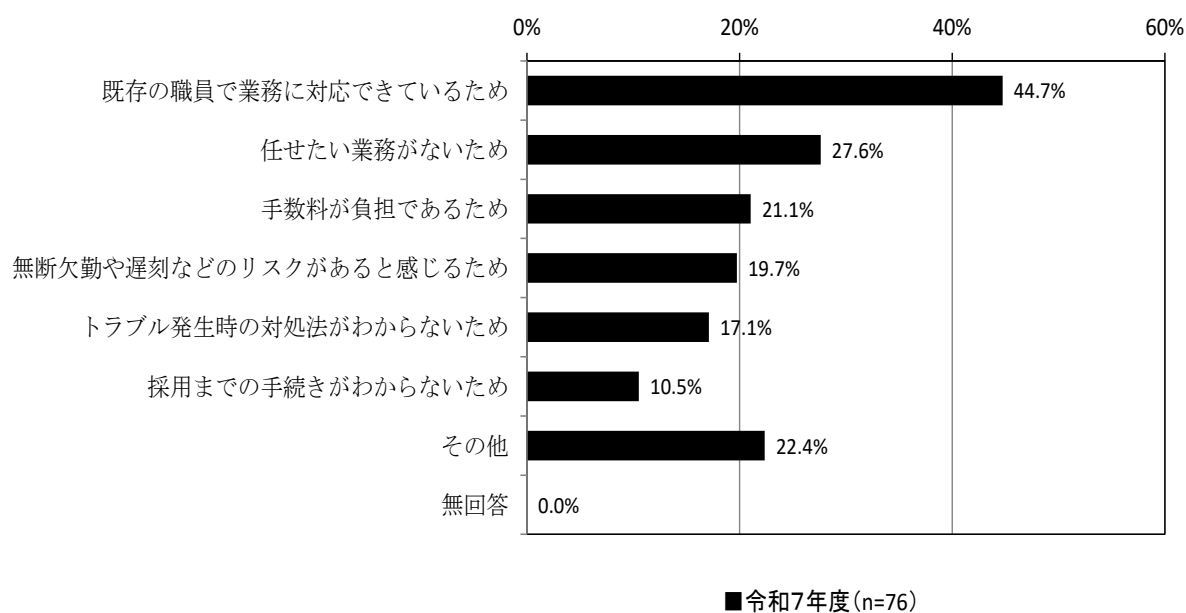
スポットワーカーの活用状況は、「興味はない」が25.7%と最も高く、次いで「わからない」が22.8%であった。

問 15 スポットワーカーを活用している理由をお答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」



スポットワーカーを「既に活用している」と回答した施設・事業所（28件）に、スポットワーカーを活用している理由を尋ねたところ、その理由は、「急な欠員やシフト変更に対応するため」が60.7%と最も高く、次いで「慢性的な人手不足に対応するため」が53.6%であった。

問 16 現在、スポットワーカーを活用していない理由をお答えください。 ※あてはまるものすべてに「○」



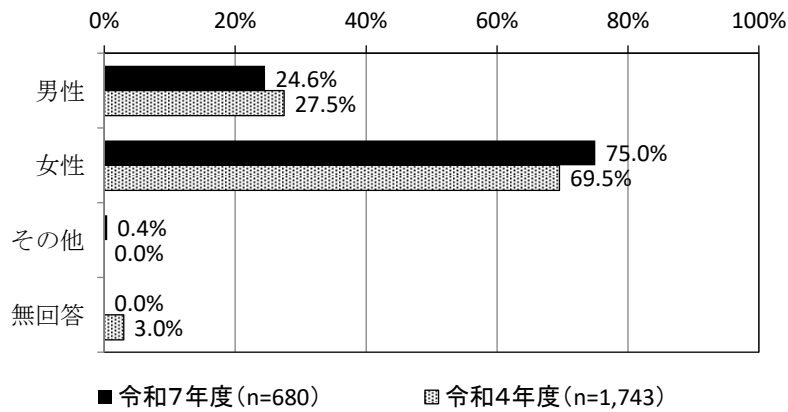
スポットワーカーの「活用を検討している」、「検討はしていないが興味はある」、「興味はない」と回答した施設・事業所（76件）に、スポットワーカーを活用していない理由を尋ねたところ、その理由は、「既存の職員で業務に対応できているため」が44.7%と最も高く、次いで「任せたい業務がないため」が27.6%であった。

【職員票】

1. 回答者の属性

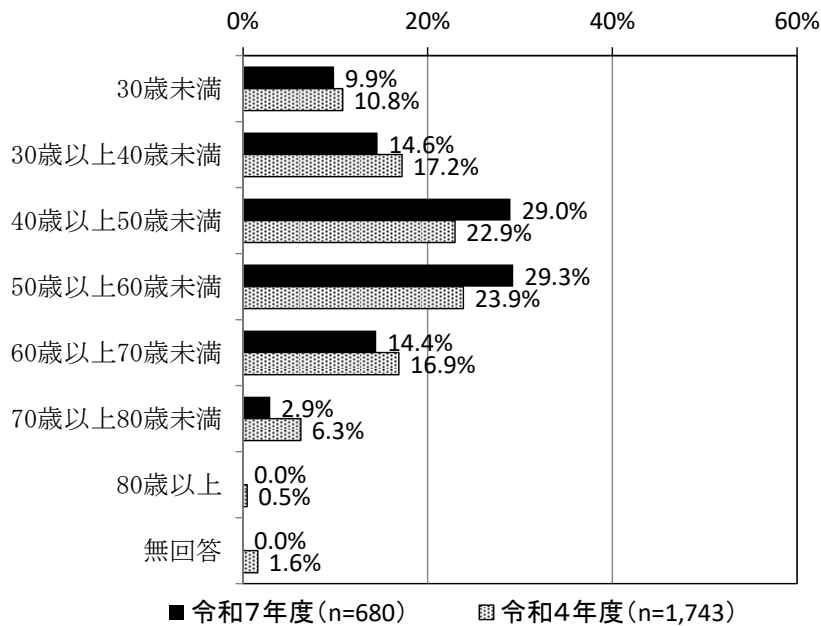
ここでは、回答のあった介護職員、看護職員、リハビリテーション職員 680 人の属性について記す。

問1 あなたの性別をお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



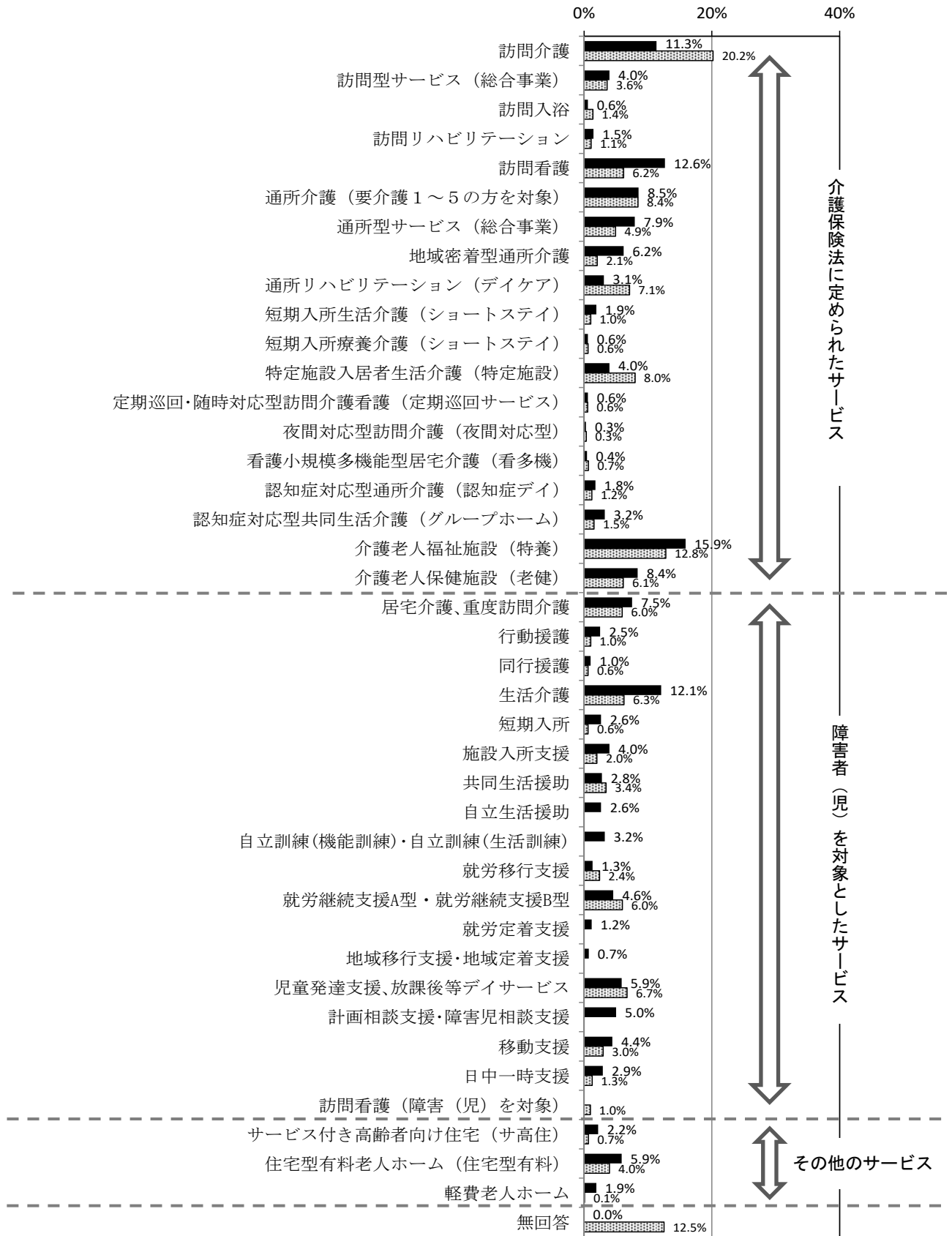
性別は、「男性」が24.6%、「女性」が75.0%、「その他」が0.4%となっている。

問2 あなたの年齢をお答えください（令和7年10月1日現在）※数値を記入



年齢区分は、「50歳以上60歳未満」が29.3%、次いで「40歳以上50歳未満」が29.0%、「30歳以上40歳未満」が14.6%となっている。

問3 あなたの所属をお答えください（兼務先を含む）。※あてはまるものすべてに「○」



■ 令和7年度 (n=680)

▣ 令和4年度 (n=1,743)

- (注1) 令和7年度調査では、「自立生活援助」、「自立訓練(機能訓練)・自立訓練(生活訓練)」、「就労定着支援」、「地域移行支援・地域定着支援」、「計画相談支援・障害児相談支援」の選択肢を設けた。また、「訪問看護(障害(児)を対象)」の選択肢は設けなかった。
- (注2) 令和4年度調査では、介護保険の所属先不明、障害者(児)の所属先不明、その他の所属先不明は「無回答」に含めた。

(介護保険法に定められたサービス)

介護保険法に定められたサービスでは、「介護老人福祉施設(特養)」の割合が15.9%と最も高く、次いで「訪問看護」が12.6%、「訪問介護」が11.3%となっている。

(障害者(児)を対象としたサービス)

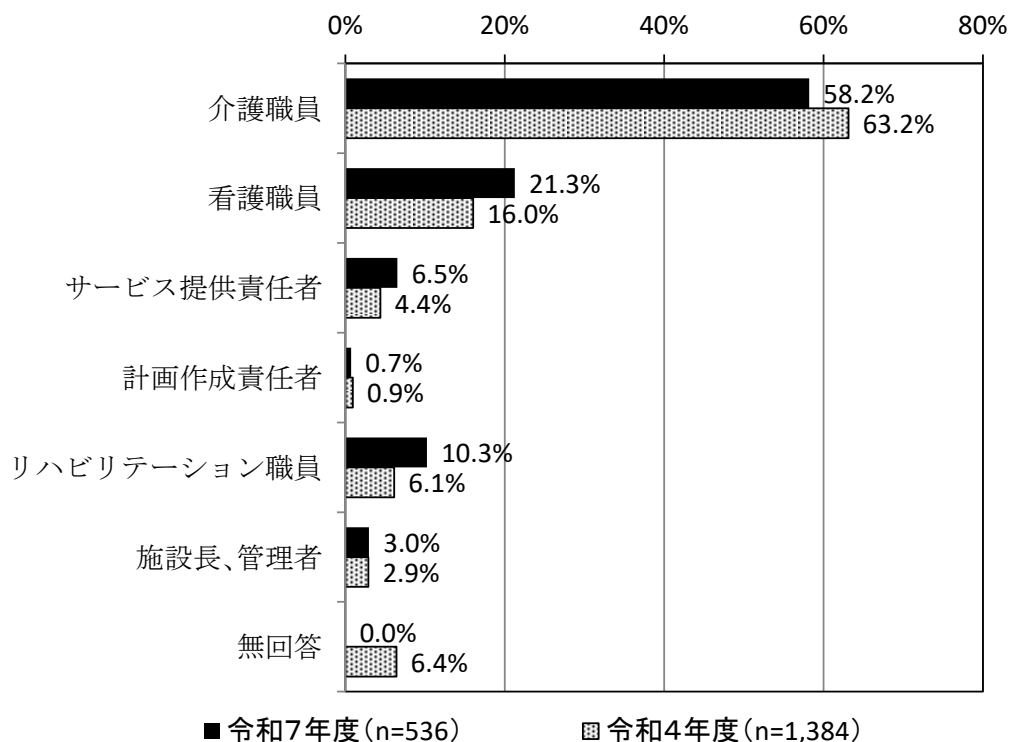
障害者(児)を対象としたサービスでは、「生活介護」の割合が12.1%と最も高く、次いで「居宅介護、重度訪問介護」が7.5%、「児童発達支援、放課後等デイサービス」が5.9%となっている。

(その他のサービス)

その他のサービスでは、「住宅型有料老人ホーム(住宅型有料)」が5.9%となっている。

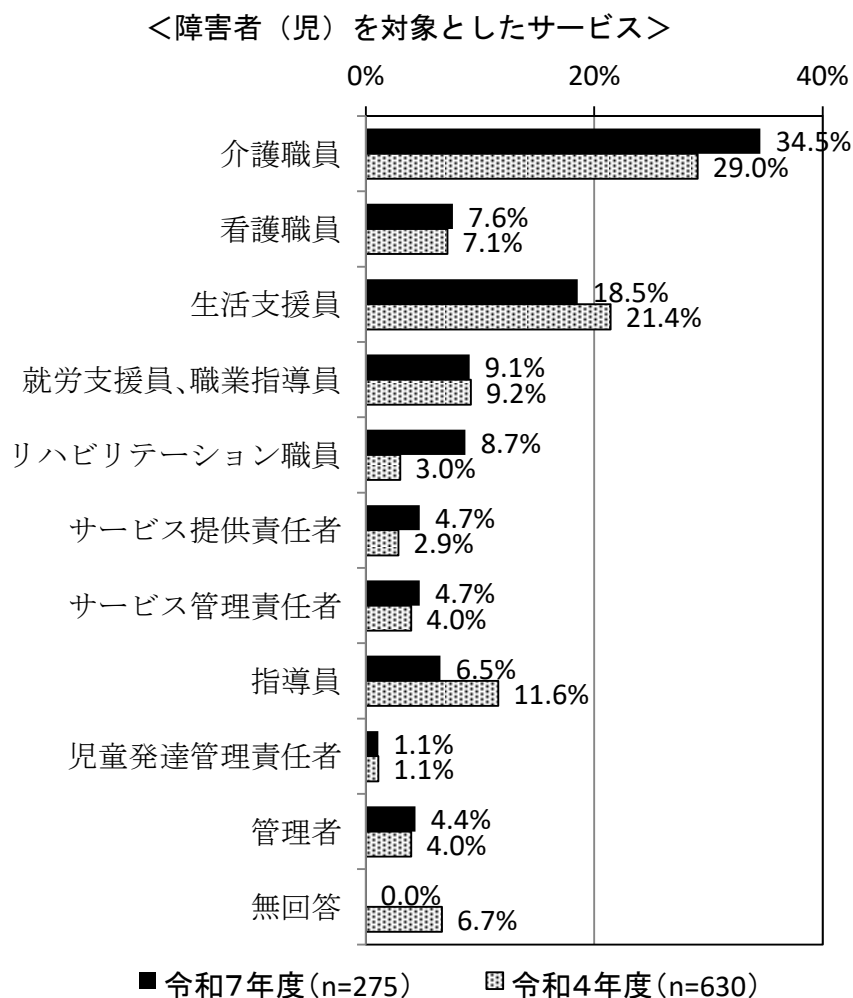
問4 (1) 問3 (1) (3) のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○をつけてください。

＜介護保険法に定められたサービス、その他のサービス＞



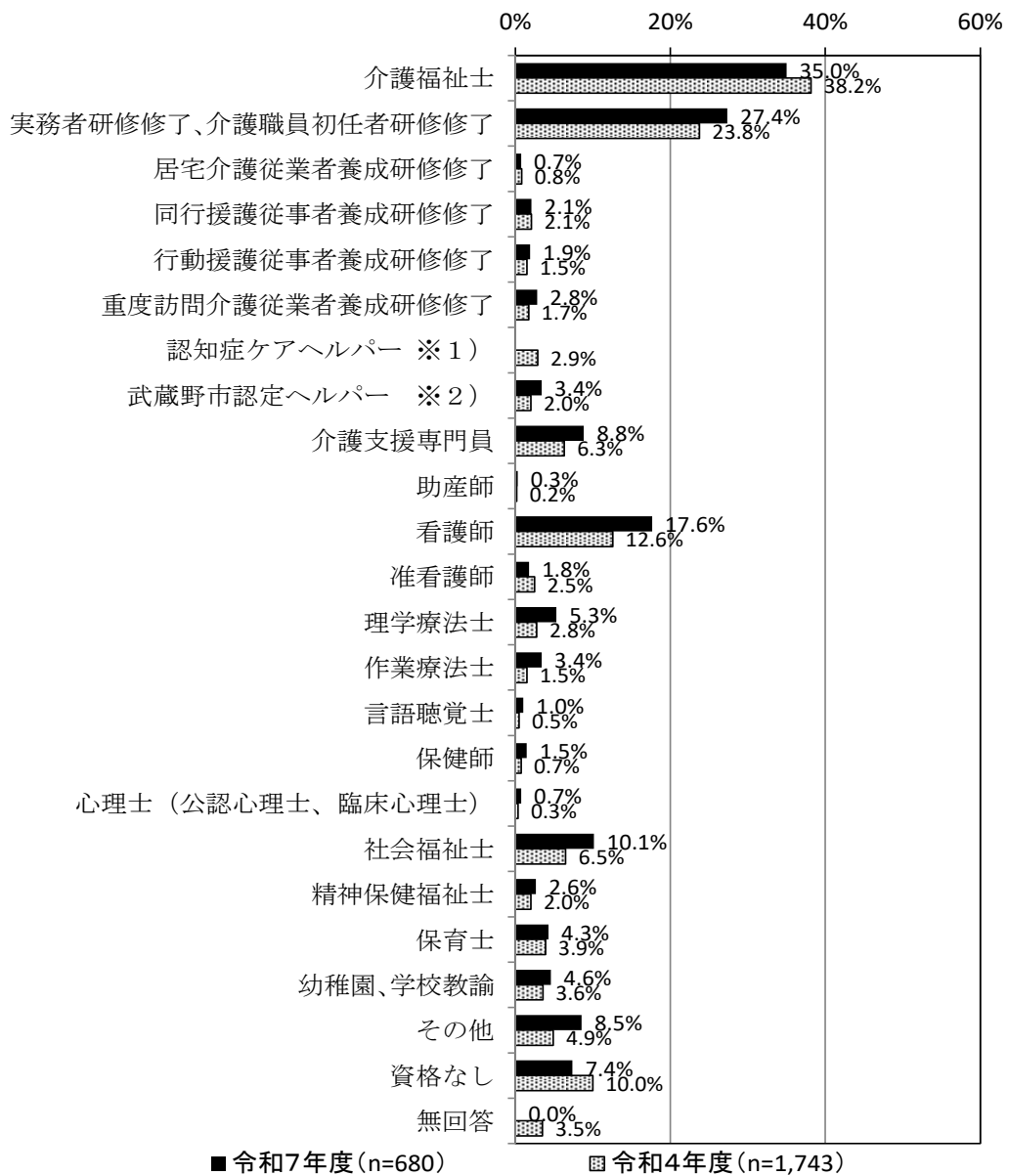
介護保険法に定められているサービスに属している人の主な職種は、「介護職員」の割合が58.2%と最も高く、次いで「看護職員」が21.3%となっている。

問4 (2) 問3 (2) のサービスから1つ以上選択した方に伺います。主な職種1つに○をつけてください。



障害者（児）を対象としたサービスに属している人の主な職種は、「介護職員」の割合が34.5%と最も高く、次いで「生活支援員」が18.5%、「就労支援員、職業指導員」が9.1%となっている。

問5 (1) あなたが保有している資格をお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



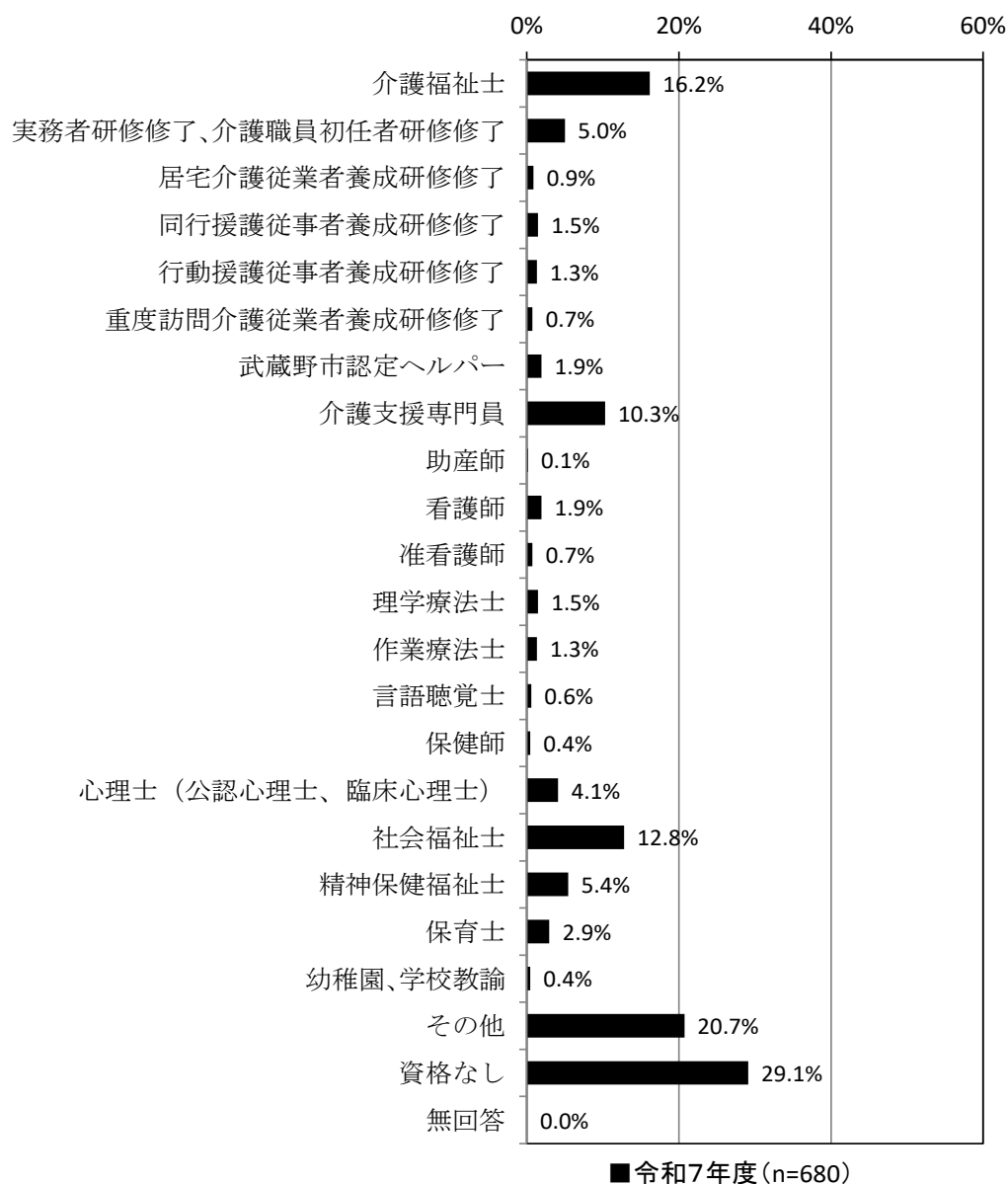
(注1) 令和7年度調査では、「認知症ケアヘルパー」の選択肢は設けなかった。

※1) 「認知症ケアヘルパー」とは、市が独自に実施する研修(16時間)を受講し、修了後に「認知症高齢者見守り支援事業」において、認知症高齢者の見守りや外出支援など、介護保険の給付対象とならないサービスを提供することができる資格

※2) 「武蔵野市認定ヘルパー」とは、市が独自に実施する研修(3日間、18時間程度の講義及び実習)を受講し、修了後に総合事業の訪問型サービスにおいて、家事援助を提供することができる資格

保有資格は、「介護福祉士」の割合が35.0%と最も高く、次いで「実務者研修修了、介護職員初任者研修修了」が27.4%、「看護師」が17.6%となっている。

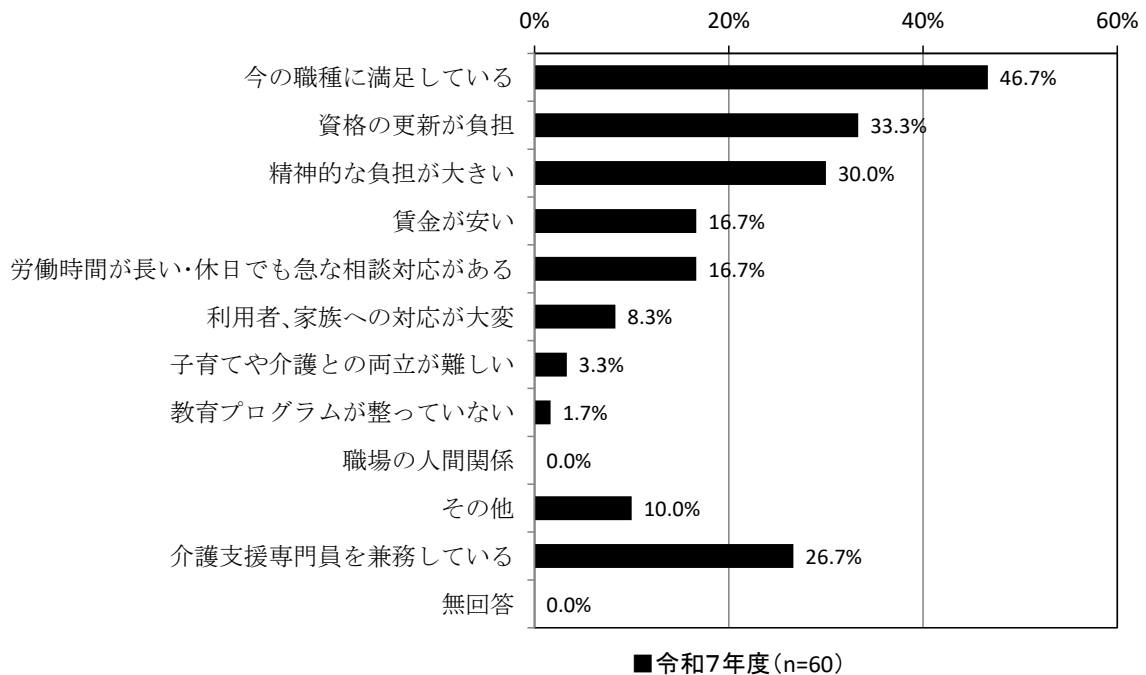
問5 (2) あなたが今後取得してみたいと考えている資格をお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



今後取得してみたいと考えている資格は、「介護福祉士」の割合が16.2%と最も高く、次いで「社会福祉士」が12.8%、「介護支援専門員」が10.3%となっている。

問5(3) 【問5(1)で「8. 介護支援専門員」と答えた方】

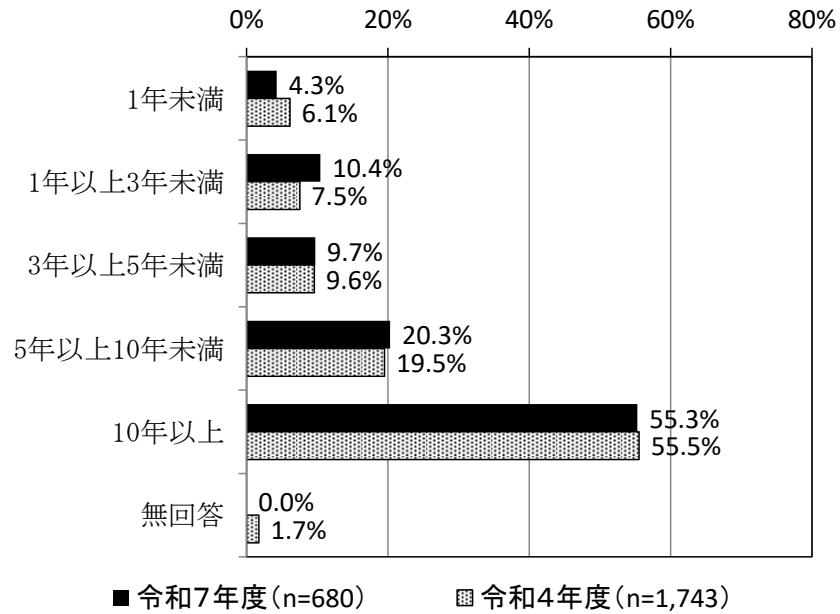
介護支援専門員の資格を持っていても介護支援専門員として働かない主な理由は何ですか。(現在介護支援専門員としても働いている場合は、「11 介護支援専門員を兼務している」を選択してください。) ※あてはまるもの最大3つまでに「○」



介護支援専門員の資格を持っていても介護支援専門員として働かない主な理由は、「今の職種に満足している」の割合が46.7%と最も高く、次いで「資格の更新が負担」が33.3%、「精神的な負担が大きい」が30.0%となっている。

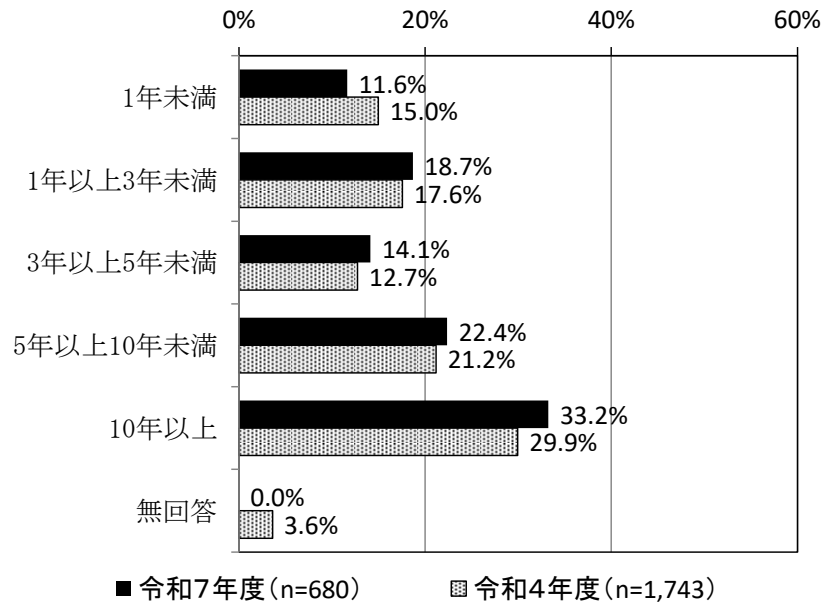
問6 あなたが介護・福祉関係の仕事に現業として従事したトータル経験年数をお答えください。※数値を記入

◇経験年数



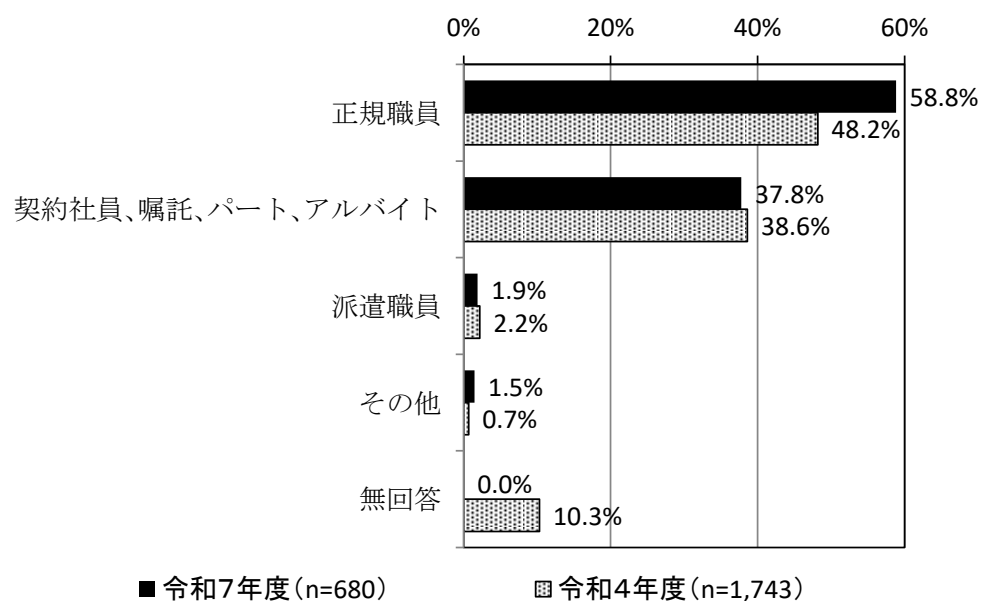
介護・福祉関係の仕事に現業として従事した年数は、「10年以上」の割合が55.3%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が20.3%となっている。

◇市内における経験年数



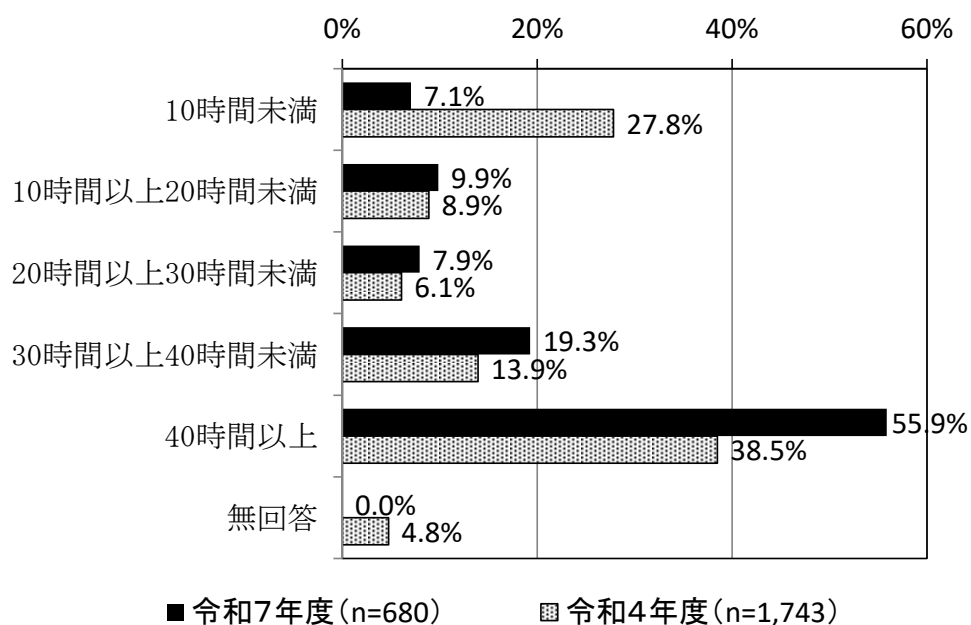
市内における介護・福祉関係の仕事に従事した年数は、「10年以上」の割合が33.2%と最も高く、次いで「5年以上10年未満」が22.4%となっている。

問7 あなたの雇用形態をお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



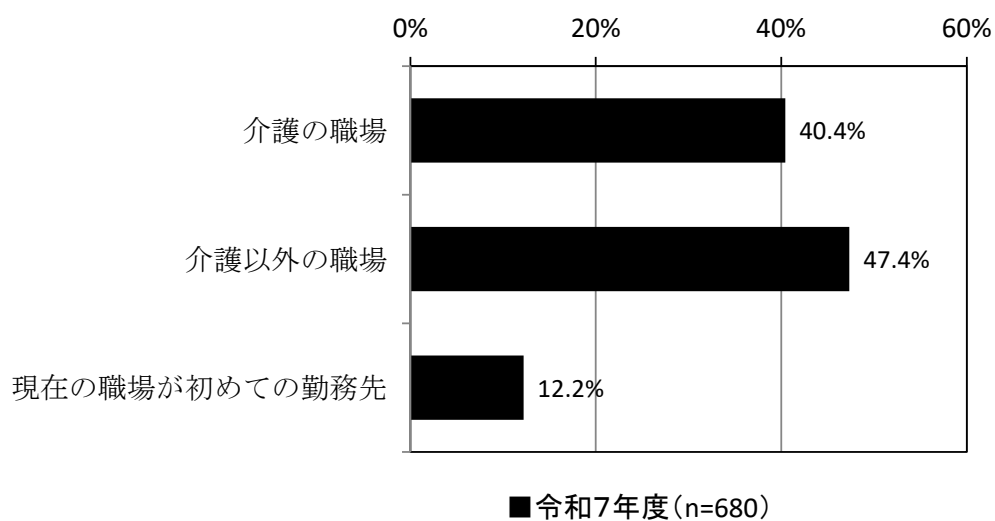
雇用形態は、「正規職員」の割合が58.8%と最も高く、次いで「契約社員、嘱託、パート、アルバイト」が37.8%となっている。

問8 あなたの直近1週間分の勤務時間（兼務先の勤務時間含む）をお答えください。※数値を記入



勤務時間は、「40時間以上」の割合が55.9%と最も高く、次いで「30時間以上40時間未満」が19.3%となっている。

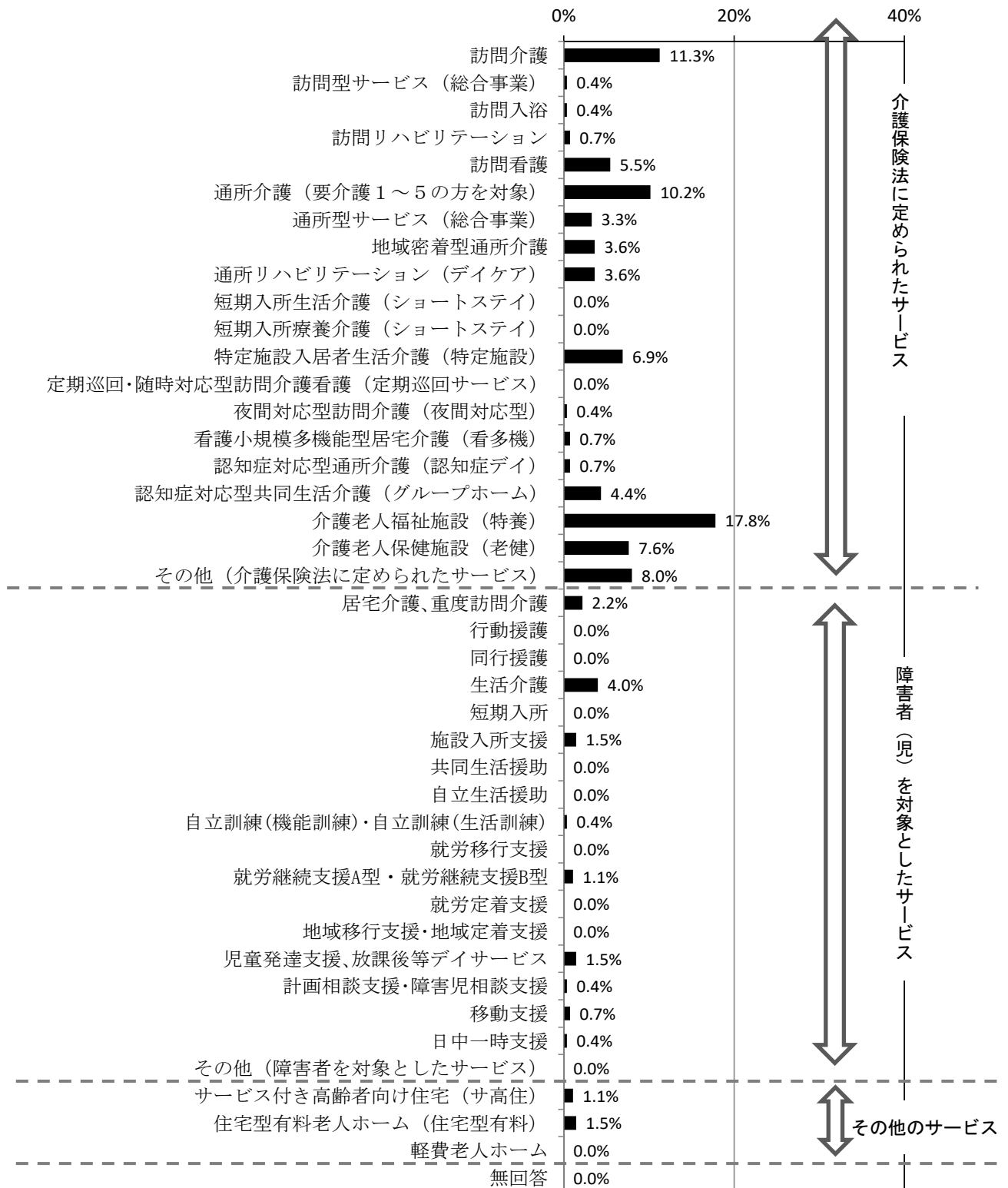
問9 現在の1つ前の勤務先をお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



「介護以外の職場」の割合が47.4%と最も高く、次いで「介護の職場」が40.4%、「現在の職場が初めての勤務先」が12.2%となっている。

問9-1 【問9で「1 介護の職場」と答えた方】

現在の1つ前の勤務先の所属をお答えください。(兼務していた場合は、主な所属をお答えください。) ※あてはまるもの1つに「○」

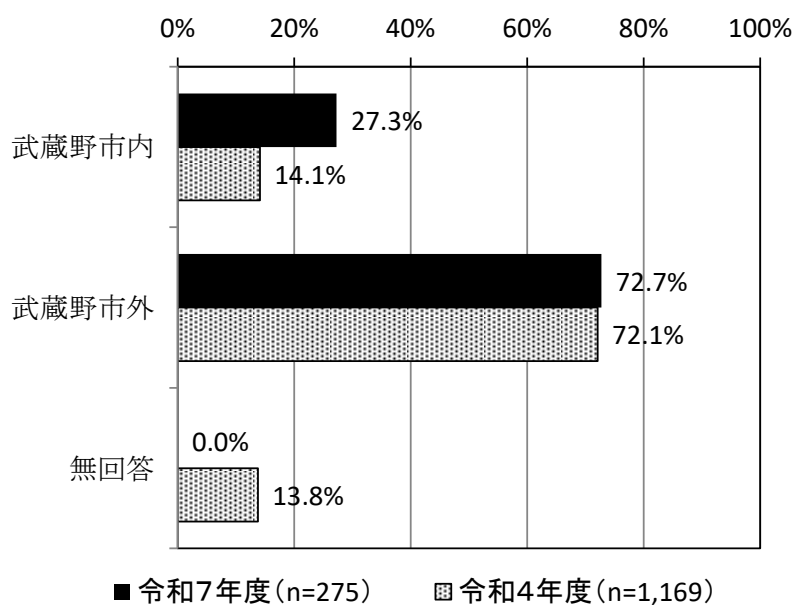


■令和7年度(n=275)

現在の1つ前の勤務先が「介護の職場」と回答した方(275人)に、現在の1つ前の勤務先の所属を尋ねたところ、「介護老人福祉施設(特養)」の割合が17.8%と最も高く、次いで「訪問介護」が11.3%、「通所介護(要介護1～5の方を対象)」が10.2%となっている。

問9-2 【問9で「1 介護の職場」と答えた方】

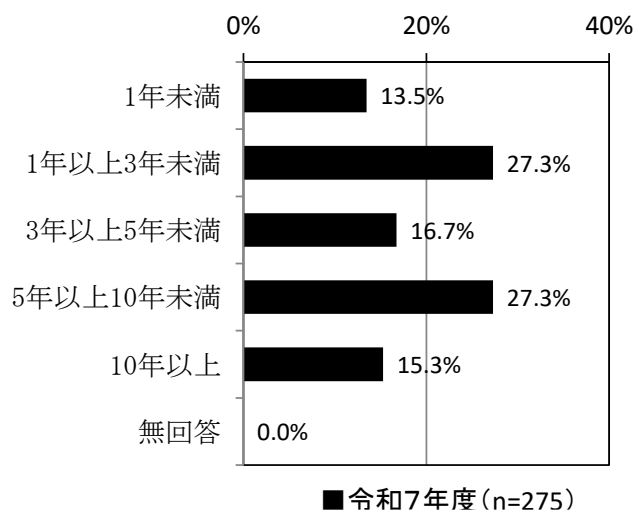
現在の1つ前の勤務先の所在地をお答えください。※あてはまるもの1つに「○」



現在の1つ前の勤務先の所在地は、「市内」が27.3%、「市外」が72.7%となっている。

問9-3 【問9で「1 介護の職場」と答えた方】

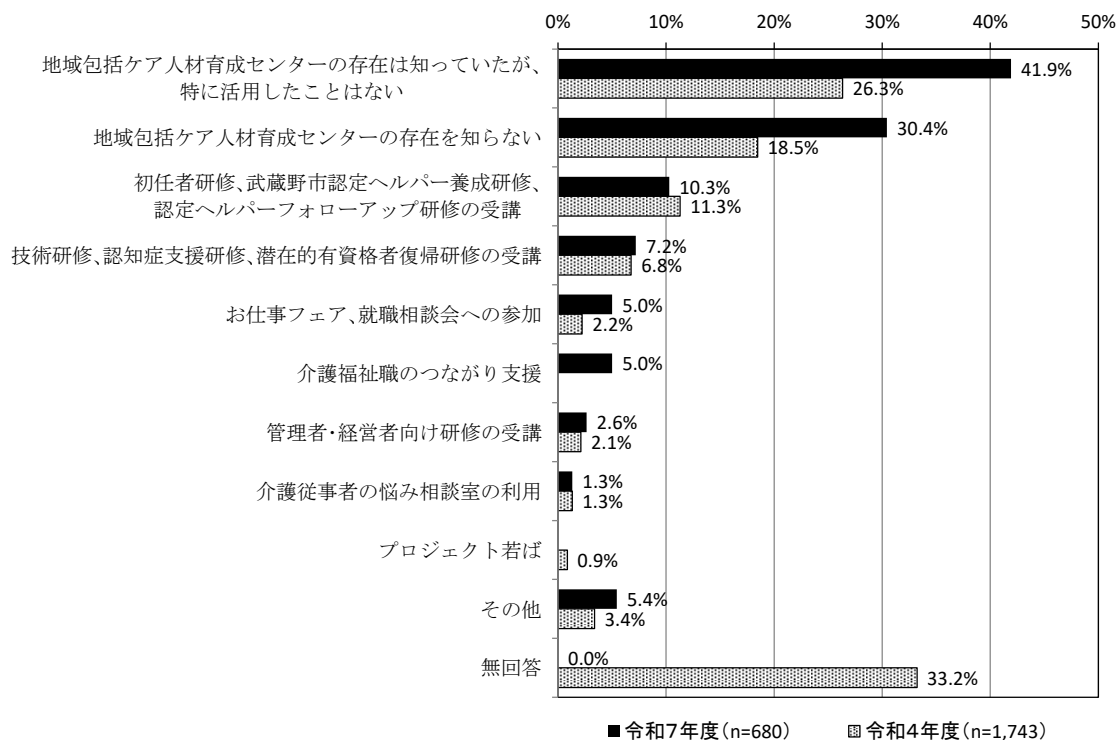
現在の1つ前の勤務先で勤めた年数をお答えください。※数値を記入



現在の1つ前の勤務先で勤めた年数は、「1年以上3年未満」、「5年以上10年未満」の割合が27.3%と最も高く、次いで「3年以上5年未満」前が16.7%となっている。

2. 地域包括ケア人材育成センターについて

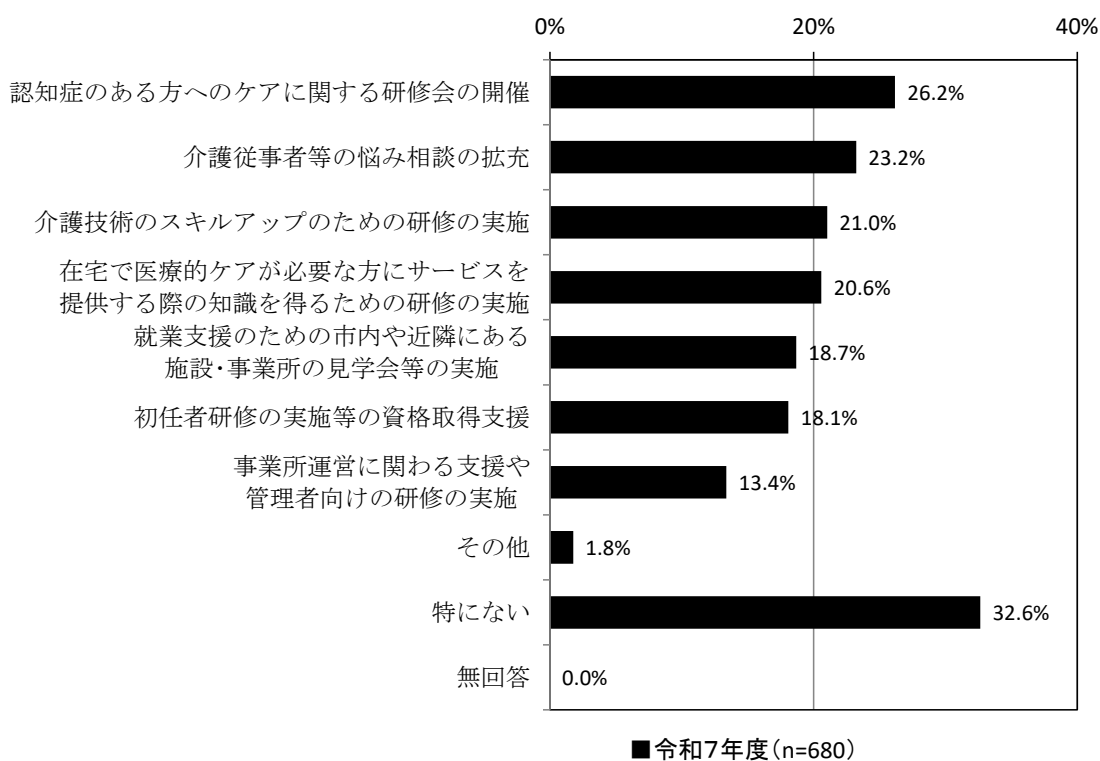
問 10 地域包括ケア人材育成センターの活用状況をお答えください。※あてはまるものすべてに「○」



(注) 令和7年度調査では、「介護福祉職のつながり支援」の選択肢を設けた。また、「プロジェクト若ば」の選択肢は設けなかった。

地域包括ケア人材育成センターの活用状況は、「地域包括ケア人材育成センターの存在は知っていたが、特に活用したことはない」の割合が41.9%、次いで「地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない」が30.4%、「初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講」が10.3%となっている。

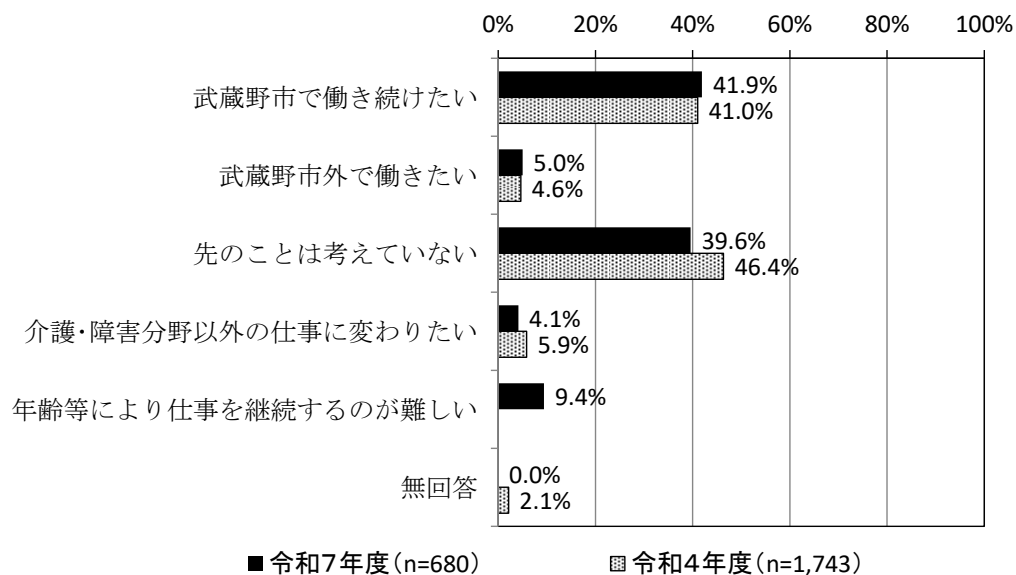
問 11 地域包括ケア人材育成センターに求めることは何ですか。(3を選択した方は「スキルアップ研修」の具体的な内容もご記入ください。) ※あてはまるものすべてに「○」



地域包括ケア人材育成センターに求めることは、「特にない」以外では「認知症のある方へのケアに関する研修会の開催」が 26.2%、「介護従事者等の悩み相談の拡充」が 23.2%となっている。

3. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向

問12 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向をお答えください。※
あてはまるもの1つに「○」

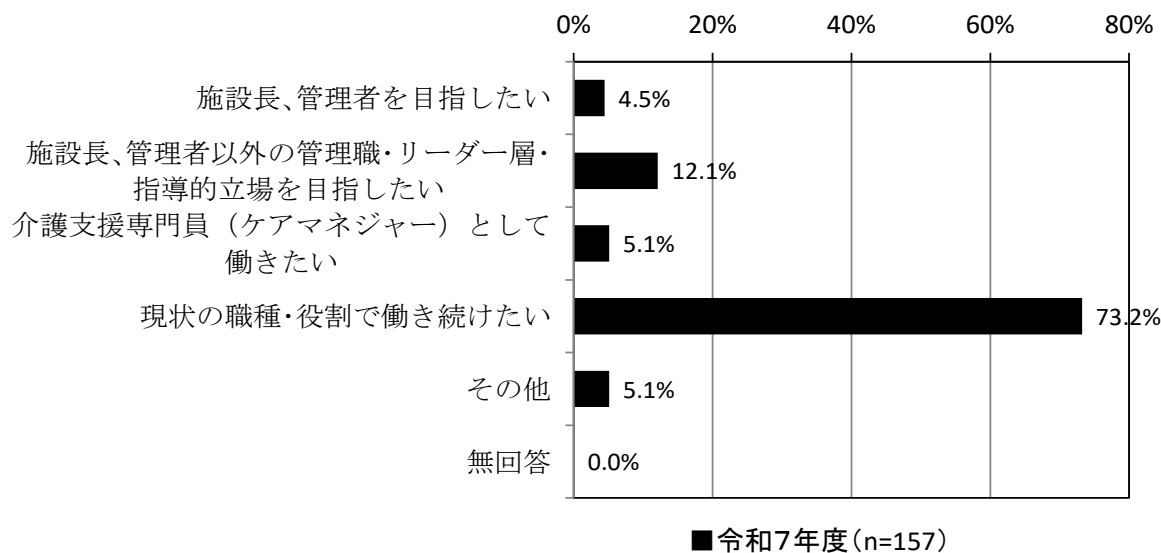


(注) 令和7年度調査では、「年齢等により仕事を継続するのが難しい」の選択肢を設けた。

約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向は、「武蔵野市で働き続けたい」が41.9%、「先のことは考えていない」が39.6%となっている。

問 12-1 【問 4 で「1 介護職員」、かつ問 12 で「1 武蔵野市で働き続けたい」、「2 武蔵野市外で働きたい」と答えた方】

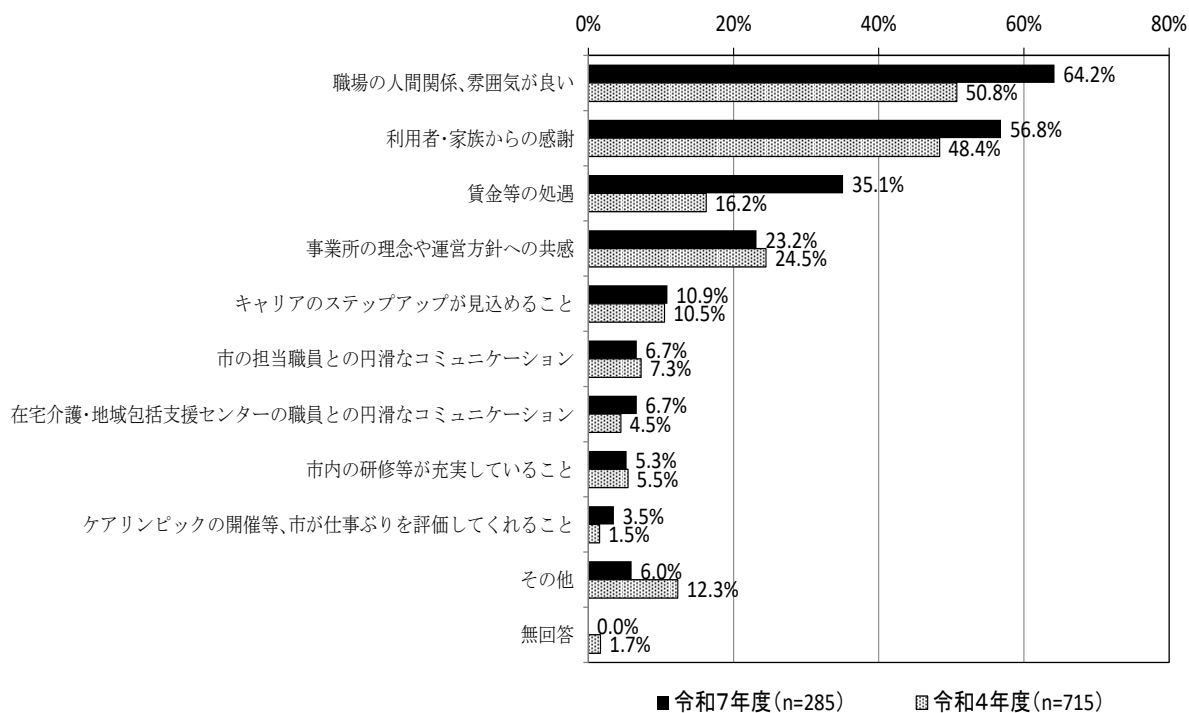
今後希望するキャリアとして、最もあてはまるものをお答えください。※あてはまるもの 1 つに「○」



今後希望するキャリアは、「現状の職種・役割で働き続けたい」が 73.2%、「施設長、管理者以外の管理職・リーダー層・指導的立場を目指したい」が 12.1%となっている。

問 12-2 【問 12 で「1 武蔵野市で働き続けたい」を選択した方】

武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることは何ですか。※あてはまるもの最大3つまでに「○」

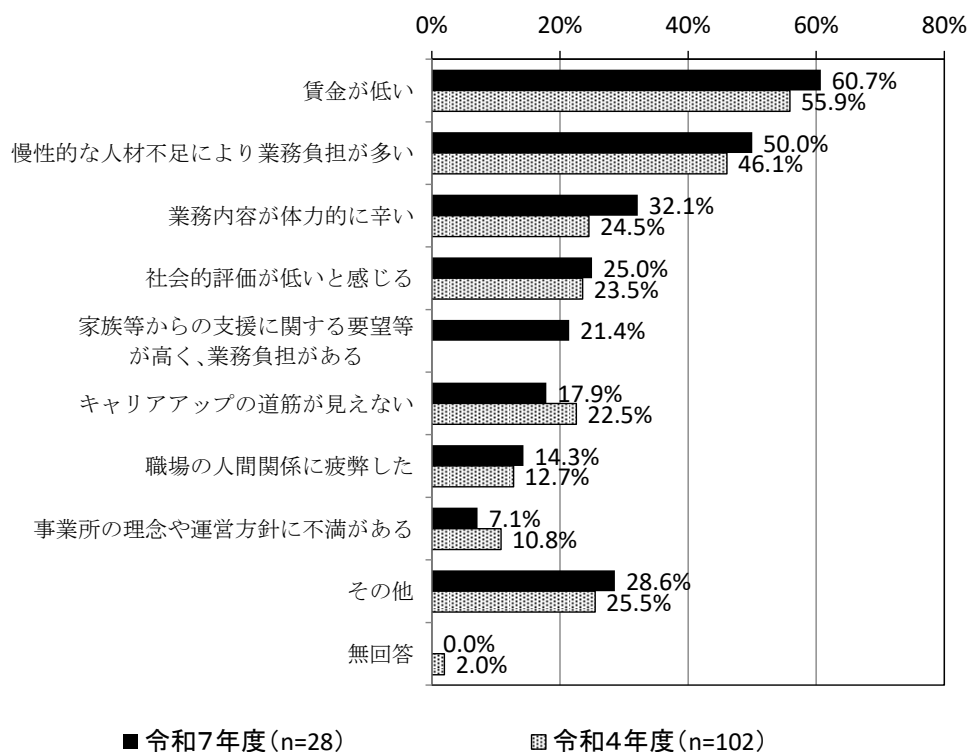


「武蔵野市で働き続けたい」と回答した方（285人）に、武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることを尋ねたところ、「職場の人間関係、雰囲気が良い」が64.2%と最も高く、次いで「利用者・家族からの感謝」が56.8%、「賃金等の処遇」が35.1%となっている。

「その他」には、「自宅から近い」「交通の利便性」等の回答がみられた。

問 12-3 【問 12 で「4 介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した方】

「介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した理由は何ですか。※あてはまるもの最大3つまでに「○」



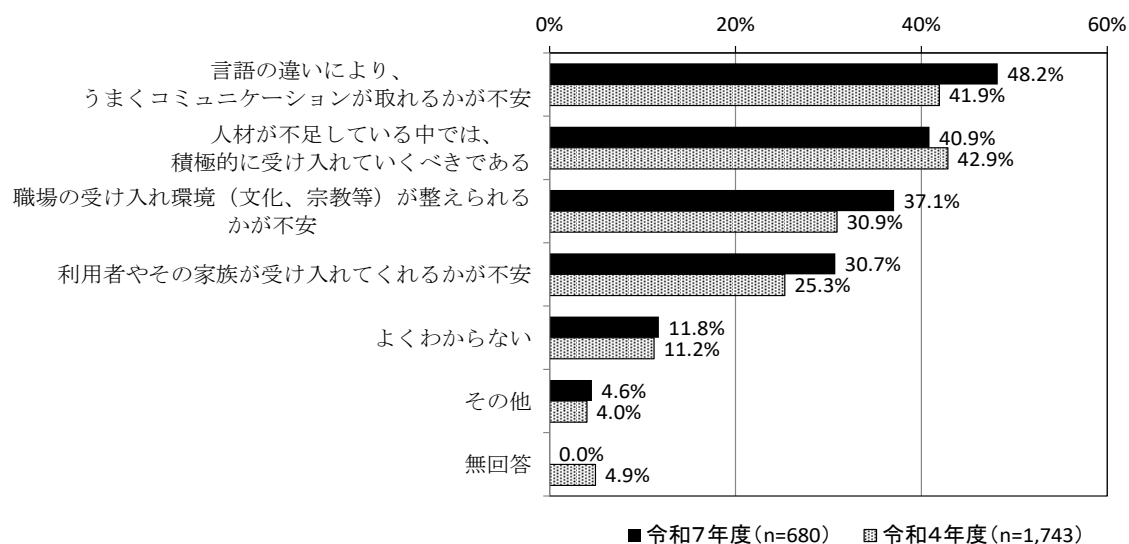
(注) 令和7年度調査では、「家族等からの支援に関する要望等が高く、業務負担がある」の選択肢を設けた。

「介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」と回答した方（28人）に、介護・障害分野以外の仕事に変わりたい理由を尋ねたところ、「賃金が低い」が60.7%と最も高く、次いで「慢性的な人材不足により業務負担が多い」が50.0%、「業務内容が体力的に辛い」が32.1%となっている。

「その他」には、「別の仕事も経験してみたい」等の回答がみられた。

4. 外国人介護職員の受け入れに対する考え

問 13 外国人介護職員の受け入れに対して、どのように考えていますか。※あてはまるもの最大3つまでに「○」

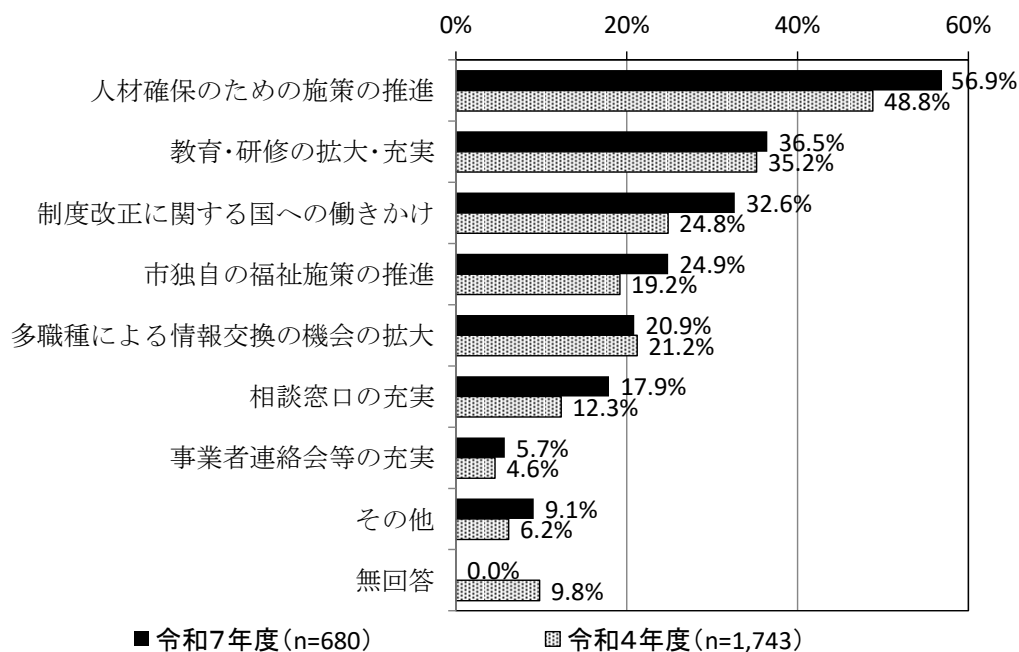


外国人介護職員の受け入れに対しては、「言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安」が48.2%と最も高く、次いで「人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである」が40.9%、「職場の受け入れ環境（文化、宗教等）が整えられるかが不安」が37.1%となっている。

「その他」には、「技能や日本語検定の資格を持った人であれば歓迎する」等の回答がみられた。

5. 武蔵野市で働き続けるために市に求めること

問 14 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めることは何ですか。※
あてはまるもの最大3つまでに「○」



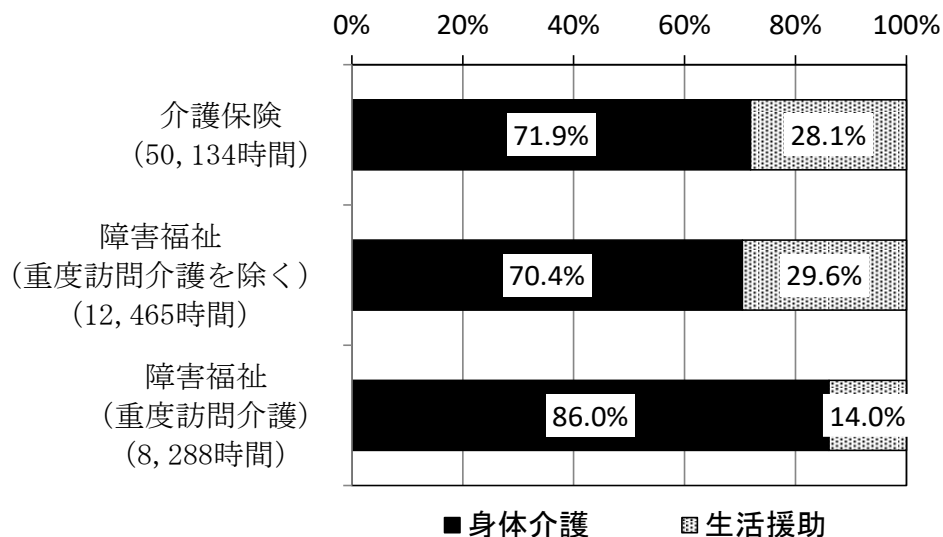
武蔵野市で働き続けるために市に求めることとして、「人材確保のための施策の推進」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「教育・研修の拡大・充実」が 36.5%、「制度改正に関する国への働きかけ」が 32.6%となっている。

「その他」には、「職員に適切な給与が支払えるような経済的支援、物価高騰に対応した援助」等の回答がみられた。

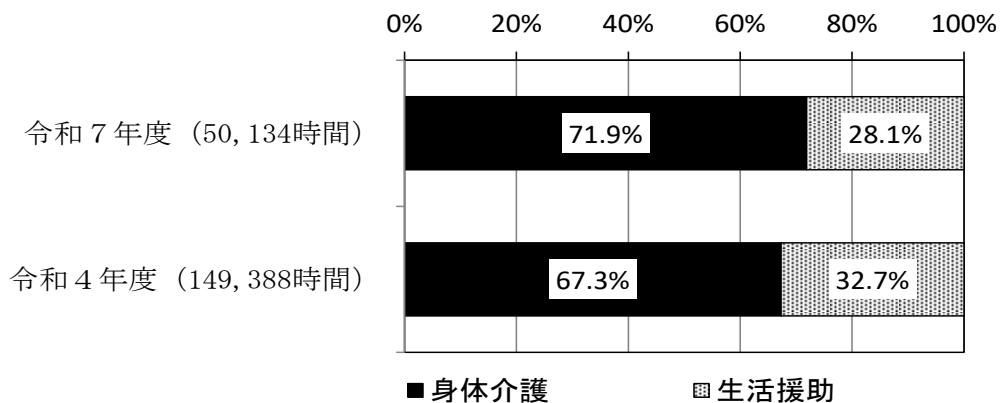
6. 1週間の訪問サービスにおける提供時間

問 15 【訪問介護員（※）のみ対象】直近1週間の訪問サービスにおける提供時間の内訳を記入してください。

※問3で、訪問介護、訪問入浴、定期巡回、夜間対応型、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援を選択した方

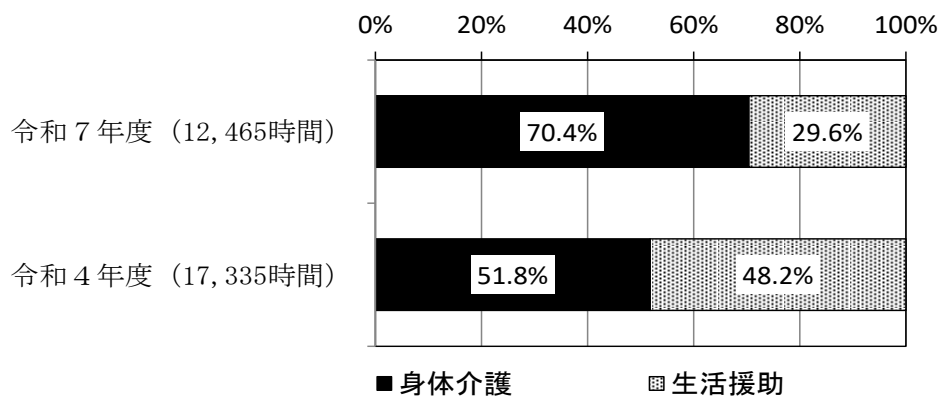


《介護保険》



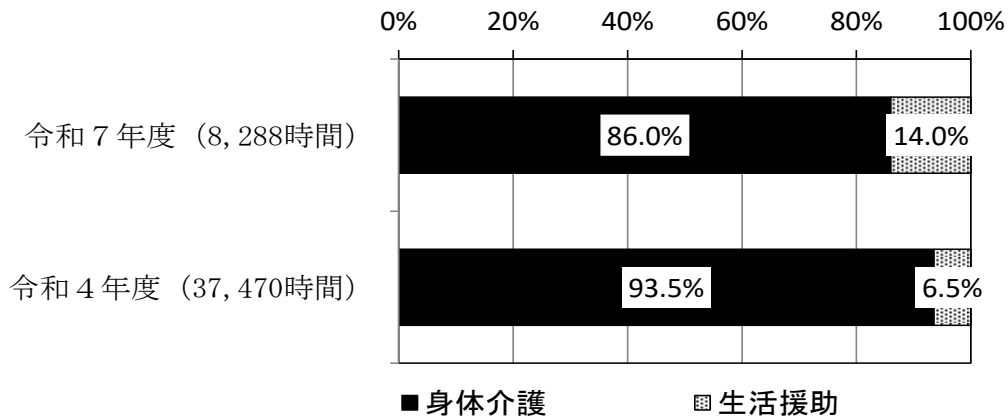
介護保険における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が71.9%、「生活援助」が28.1%となっている。

《障害福祉（重度訪問介護は除く）》



障害福祉（重度訪問介護は除く）における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が70.4%、「生活援助」が29.6%となっている。

《障害福祉（重度訪問介護）》



障害福祉（重度訪問介護）における直近1週間の訪問サービスの提供時間は、「身体介護」が86.0%、「生活援助」が14.0%となっている。

第3章 介護施設等における入退所調査結果

1. 施設等の概要

問1 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

<定員数等>

	回答数 (件)	合計 (人)	平均値 (人)
介護老人福祉施設	7	450	64.3
介護老人保健施設	1	100	100.0
特定施設入居者生活介護	6	440	73.3
認知症対応型共同生活介護	2	36	18.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	29	29.0

定員数等は、介護老人福祉施設が平均 64.3 人、特定施設入居者生活介護が平均 73.3 人だった。

※ (参考) 令和4年度

<定員数等>

	回答数 (件)	合計 (人)	平均値 (人)
介護老人福祉施設	9	542	60.2
介護老人保健施設	4	268	67.0
特定施設入居者生活介護	8	489	61.1
認知症対応型共同生活介護	2	36	18.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	24	24.0
住宅型有料老人ホーム	3	159	53.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	90	45.0
ケアハウス	1	29	29.0

(注) 住宅型有料老人ホームには居室数 (単位は「室」)、その他の施設等には定員数 (単位は「人」) を尋ねた。

＜入所利用率・入居率＞

	回答数 (件)	平均値 (%)
介護老人福祉施設	7	97.6
介護老人保健施設	1	83.0
特定施設入居者生活介護	6	80.2
認知症対応型共同生活介護	2	100.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	34.5

入所利用率・入居率をみると、看護小規模多機能型居宅介護を除くすべてのサービス種別で平均値が80%を超えていた。

※ (参考) 令和4年度

＜入所利用率・入居率＞

	回答数 (件)	平均値 (%)
介護老人福祉施設	9	95.4
介護老人保健施設	4	85.1
特定施設入居者生活介護	8	79.8
認知症対応型共同生活介護	2	86.1
看護小規模多機能型居宅介護	1	95.8
住宅型有料老人ホーム	3	88.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	95.0
ケアハウス	1	82.8

＜自施設等の待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人福祉施設	5	1279	255.8
介護老人保健施設	1	2	2.0
特定施設入居者生活介護	5	4	0.8
認知症対応型共同生活介護	2	27	13.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0.0

自施設等の待機者数（申込者数）をみると、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）では平均 255.8 人、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）では平均 13.5 人の待機者（申込者）がいた。

※（参考）令和 4 年度

＜自施設等の待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人福祉施設	7	2,287	326.7
介護老人保健施設	2	0	0.0
特定施設入居者生活介護	8	5	0.6
認知症対応型共同生活介護	2	12	6.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0.0
住宅型有料老人ホーム	3	0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	2	9	4.5
ケアハウス	1	0	0.0

＜特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人保健施設	1	15	15.0
特定施設入居者生活介護	5	0	0.0
認知症対応型共同生活介護	2	2	1.0
看護小規模多機能型居宅介護	1	2	2.0

現在入所・入居している施設別（ただし、介護老人福祉施設を除く）に、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）の待機者数（申込者数）をみると、介護老人保健施設で平均 15.0 人であった。

※（参考）令和 4 年度

＜特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）＞

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
介護老人保健施設	1	5	5.0
特定施設入居者生活介護	7	0	0.0
認知症対応型共同生活介護	2	3	1.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	0	0.0
住宅型有料老人ホーム	3	1	0.3
サービス付き高齢者向け住宅	2	0	0.0
ケアハウス	1	2	2.0

問2 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。(数値を記入)

<要支援・要介護度別 入所・入居者の人数・割合>

(単位：人)

	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
全体	921 100.0%	18 2.0%	24 2.6%	19 2.1%	99 10.7%	97 10.5%	196 21.3%	277 30.1%	190 20.6%	1 0.1%
介護老人福祉施設	439 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 1.1%	16 3.6%	97 22.1%	183 41.7%	138 31.4%	0 0.0%
介護老人保健施設	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%	9 10.8%	24 28.9%	32 38.6%	14 16.9%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	353 100.0%	18 5.1%	24 6.8%	19 5.4%	85 24.1%	60 17.0%	56 15.9%	56 15.9%	35 9.9%	0 0.0%
認知症対応型共同生活介護	36 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 11.1%	10 27.8%	14 38.9%	5 13.9%	2 5.6%	1 2.8%
看護小規模多機能型居宅介護	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	5 50.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%

入所・入居者の要支援・要介護度をみると、要介護度3から要介護度5の割合が多いのは、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」、「介護老人保健施設」の順であった。

※（参考）令和4年度

<要支援・要介護度別 入所・入居者の人数・割合>

（単位：人）

	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
全体	1,458 100.0%	74 5.1%	48 3.3%	36 2.5%	185 12.7%	159 10.9%	258 17.7%	398 27.3%	284 19.5%	16 1.1%
介護老人福祉施設	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	8 1.5%	102 19.6%	232 44.6%	174 33.5%	0 0.0%
介護老人保健施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 6.4%	34 14.5%	59 25.1%	79 33.6%	48 20.4%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	382 100.0%	26 6.8%	28 7.3%	22 5.8%	85 22.3%	67 17.5%	55 14.4%	53 13.9%	32 8.4%	14 3.7%
認知症対応型共同生活介護	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 22.6%	6 19.4%	8 25.8%	6 19.4%	4 12.9%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	23 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	7 30.4%	6 26.1%	2 8.7%	7 30.4%	0 0.0%
住宅型有料老人ホーム	150 100.0%	17 11.3%	12 8.0%	7 4.7%	40 26.7%	18 12.0%	18 12.0%	20 13.3%	18 12.0%	0 0.0%
サービス付き高齢者向け住宅	93 100.0%	21 22.6%	8 8.6%	6 6.5%	25 26.9%	16 17.2%	9 9.7%	5 5.4%	1 1.1%	2 2.2%
ケアハウス	24 100.0%	10 41.7%	0 0.0%	1 4.2%	8 33.3%	3 12.5%	1 4.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%

2. 医療処置を受けている人数

問3 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)
 ※該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を記入してください。

＜医療処置を受けている人数・割合＞

(単位：人)

	合計	点滴の管理	透析	酸素療法	気管切開の処置	経管栄養	褥瘡の処置	喀痰吸引	中心静脈栄養	ストーマの処置	レスピレーター	疼痛の看護	モニター測定	カテーテル	インスリン注射
全体	921 100.0%	4 0.4%	0 0.0%	19 2.1%	2 0.2%	27 2.9%	22 2.4%	28 3.0%	1 0.1%	8 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 2.2%	14 1.5%
介護老人福祉施設	439 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.9%	0 0.0%	10 2.3%	13 3.0%	13 3.0%	0 0.0%	4 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 2.1%	2 0.5%
介護老人保健施設	83 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%	2 2.4%	4 4.8%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%	0 0.0%
特定施設入居者生活介護	353 100.0%	4 1.1%	0 0.0%	14 4.0%	2 0.6%	13 3.7%	7 2.0%	11 3.1%	1 0.3%	3 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 2.8%	12 3.4%
認知症対応型共同生活介護	36 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

医療処置を受けている人数・割合は、「喀痰吸引」が3.0% (28人)、「経管栄養」が2.9% (27人) だった。

※（参考）令和4年度

＜医療処置を受けている人数・割合＞

（単位：人）

	合計	点滴の管理	透析	酸素療法	気管切開の処置	経管栄養	褥瘡の処置	喀痰吸引	中心静脈栄養	ストーマの処置	レスピレーター	疼痛の看護	モニター測定	カテーテル	インスリン注射
全体	1,458 100.0%	5 0.3%	5 0.3%	23 1.6%	0 0.0%	35 2.4%	30 2.1%	42 2.9%	0 0.0%	10 0.7%	1 0.1%	7 0.5%	1 0.1%	23 1.6%	14 1.0%
介護老人福祉施設	520 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	14 2.7%	6 1.2%	16 3.1%	0 0.0%	4 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.7%	2 0.4%
介護老人保健施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.9%	0 0.0%	10 4.3%	11 4.7%	16 6.8%	0 0.0%	4 1.7%	1 0.4%	3 1.3%	1 0.4%	7 3.0%	5 2.1%
特定施設入居者生活介護	382 100.0%	3 0.8%	2 0.5%	13 3.4%	0 0.0%	10 2.6%	10 2.6%	9 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	0 0.0%	3 0.8%	4 1.0%
認知症対応型共同生活介護	31 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
看護小規模多機能型居宅介護	23 100.0%	2 8.7%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	1 4.3%	2 8.7%	1 4.3%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	2 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
住宅型有料老人ホーム	150 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 2.7%	2 1.3%
サービス付き高齢者向け住宅	93 100.0%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
ケアハウス	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%

3. 過去2年間の入所・入居者数

問4 過去2年間（令和5年10月1日～令和7年9月30日）に、新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

<過去2年間の入所・入居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	16	615	38.4
介護老人福祉施設	7	257	36.7
介護老人保健施設	1	141	141.0
特定施設入居者生活介護	6	206	34.3
認知症対応型共同生活介護	2	11	5.5
看護小規模多機能型居宅介護	-	-	-

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

過去2年間の入所・入居者数は、介護老人保健施設が平均141.0人だった。

※（参考）令和4年度

<過去2年間の入所・入居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	30	1,282	42.7
介護老人福祉施設	9	323	35.9
介護老人保健施設	4	674	168.5
特定施設入居者生活介護	8	127	15.9
認知症対応型共同生活介護	2	15	7.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	36	36.0
住宅型有料老人ホーム	3	52	17.3
サービス付き高齢者向け住宅	2	49	24.5
ケアハウス	1	6	6.0

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

（注2）看護小規模多機能型居宅介護については、利用登録者数を示している。

問5 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、入所・入居前の居場所別人数をご記入ください。

<入所・入居前の居場所別 過去2年間の新規入所・入居者数>

(単位：人)

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	病院・診療所	その他	把握していない	合計
全体	市内	169	19	0	0	2	2	0	100	0	2	2	0	89	13	0	615
	市外	70	8	4	3	2	13	0	30	0	0	2	0	84	1		
介護老人福祉施設	市内	44	9	0	0	2	1	0	92	0	2	2	0	30	9	0	257
	市外	9	5	3	1	1	0	0	26	0	0	1	0	20	0		
介護老人保健施設	市内	43	9	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	54	0	0	141
	市外	12	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0		
特定施設入居者生活介護	市内	78	0	0	0	0	1	0	3	0	0	0	0	5	4	0	206
	市外	49	2	0	2	1	12	0	4	0	0	1	0	43	1		
認知症対応型共同生活介護	市内	4	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	11
	市外	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		
看護小規模多機能型居宅介護	市内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	市外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

過去2年間の新規入所・入居者数を入所・入居前の居場所別にみると、「介護老人福祉施設」では、257人のうち「介護老人保健施設」が118人（市内92人、市外26人）、「自宅」が53人（市内44人、市外9人）だった。

※（参考）令和4年度

<入所・入居前の居場所別 過去2年間の新規入所・入居者数>

（単位：人）

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	療養型・介護医療院	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	合計
全体	市内	364	4	0	1	7	10	0	101	2	15	11	0	201	61	1,282
	市外	189	5	1	1	1	6	0	76	0	5	10	1	210		
介護老人福祉施設	市内	95	4	0	1	7	4	0	84	2	15	10	0	26	18	323
	市外	8	2	1	0	1	1	0	27	0	5	6	0	6		
介護老人保健施設	市内	155	0	0	0	0	6	0	13	0	0	1	0	156	0	674
	市外	88	0	0	0	0	4	0	45	0	0	3	0	203		
特定施設入居者生活介護	市内	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	127
	市外	61	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1		
認知症対応型共同生活介護	市内	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	15
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
看護小規模多機能型居宅介護	市内	16	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	16	0	36
	市外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
住宅型有料老人ホーム	市内	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
	市外	31	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0		
サービス付き高齢者住宅	市内	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	43	49
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ケアハウス	市内	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

4. 過去2年間の退所・退居者数

問6 過去2年間（令和5年10月1日から令和7年9月30日まで）に、貴施設等を退去した人数をご記入ください。

<過去2年間の退所・退居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	16	586	36.6
介護老人福祉施設	7	235	33.6
介護老人保健施設	1	139	139.0
特定施設入居者生活介護	6	202	33.7
認知症対応型共同生活介護	2	10	5.0
看護小規模多機能型居宅介護	-	-	-

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

（注2）死亡・搬送先での死亡を含む。

過去2年間の退所・退居者数は、介護老人福祉施設で平均33.6人であった。

※（参考）令和4年度

<過去2年間の退所・退居者数>

	回答数（件）	合計（人）	平均値（人）
全体	30	1,184	39.5
介護老人福祉施設	9	307	34.1
介護老人保健施設	4	537	134.3
特定施設入居者生活介護	8	192	24.0
認知症対応型共同生活介護	2	23	11.5
看護小規模多機能型居宅介護	1	29	29.0
住宅型有料老人ホーム	3	41	13.7
サービス付き高齢者向け住宅	2	50	25.0
ケアハウス	1	5	5.0

（注1）介護老人保健施設、看護小規模多機能型居宅介護については、利用期間に制限がある。

（注2）死亡・搬送先での死亡を含む。

問7 問6 で記入いただいた過去2年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

<要介護度別 退所・退居者の人数・割合>

(単位：人)

	合計	自立	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	新規 申請 中	死亡
全体	586 100.0%	1 0.2%	1 0.2%	5 0.9%	9 1.5%	29 4.9%	53 9.0%	116 19.8%	94 16.0%	1 0.2%	277 47.3%
介護老人福祉施設	235 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.3%	20 8.5%	49 20.9%	49 20.9%	0 0.0%	114 48.5%
介護老人保健施設	139 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	10 7.2%	25 18.0%	46 33.1%	23 16.5%	0 0.0%	33 23.7%
特定施設入居者生 活介護	202 100.0%	1 0.5%	1 0.5%	5 2.5%	7 3.5%	15 7.4%	6 3.0%	21 10.4%	17 8.4%	1 0.5%	128 63.4%
認知症対応型共同 生活介護	10 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%	2 20.0%
看護小規模多機能 型居宅介護	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

(注) 回答のあった施設等を集計対象とした。

退所・退居者数(回答のあった施設等の合計値)を要介護度別にみると、要介護3から要介護5の割合が最も高いのは「認知症対応型共同生活介護」で70.0%(10人中7人)だった。

※（参考）令和4年度

＜要介護度別 退所・退居者の人数・割合＞

（単位：人）

	合計	自立	要支 援1	要支 援2	要介 護1	要介 護2	要介 護3	要介 護4	要介 護5	新規 申請 中	死亡
全体	1,106 100.0%	12 1.1%	10 0.9%	2 0.2%	56 5.1%	113 10.2%	161 14.6%	203 18.4%	151 13.7%	2 0.2%	396 35.8%
介護老人福祉施設	263 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 3.0%	27 10.3%	42 16.0%	0 0.0%	186 70.7%
介護老人保健施設	537 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 6.3%	91 16.9%	133 24.8%	156 29.1%	86 16.0%	0 0.0%	37 6.9%
特定施設入居者生 活介護	169 100.0%	3 1.8%	4 2.4%	1 0.6%	11 6.5%	8 4.7%	9 5.3%	10 5.9%	11 6.5%	0 0.0%	112 66.3%
認知症対応型共同 生活介護	12 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	0 0.0%	6 50.0%
看護小規模多機能 型居宅介護	29 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	3 10.3%	0 0.0%	6 20.7%	0 0.0%	18 62.1%
住宅型有料老人ホ ーム	41 100.0%	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	2 4.9%	0 0.0%	29 70.7%
サービス付き高齢 者住宅	50 100.0%	8 16.0%	5 10.0%	1 2.0%	7 14.0%	7 14.0%	5 10.0%	4 8.0%	3 6.0%	2 4.0%	8 16.0%
ケアハウス	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

（注）回答のあった施設等を集計対象とした。

問8 問6で記入いただいた過去2年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

＜退去先別 過去2年間の退所・退居者数＞

(単位：人)

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	介護医療院	介護医療院を除く病院・診療所	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない	死亡	合計
全体	市内	45	6	0	0	0	0	0	0	0	5	84	19	0	2	0	355	586
	市外	13	3	0	0	0	8	0	0	0	0	37	8	0	1			
介護老人福祉施設	市内	3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	45	0	0	0	0	169	235
	市外	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0			
介護老人保健施設	市内	42	6	0	0	0	0	0	0	0	0	21	14	0	0	0	33	139
	市外	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	5	7	0	0			
特定施設入居者生活介護	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	2	0	150	202
	市外	3	0	0	0	0	8	0	0	0	0	20	1	0	1			
認知症対応型共同生活介護	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	3	10
	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
看護小規模多機能型居宅介護	市内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	市外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

過去2年間の退所・退居者数を退去先別にみると、「介護老人福祉施設」では、235人のうち、「死亡」が169人であった。「介護老人保健施設」では、139人のうち、「自宅」が51人（市内42人、市外9人）であった。

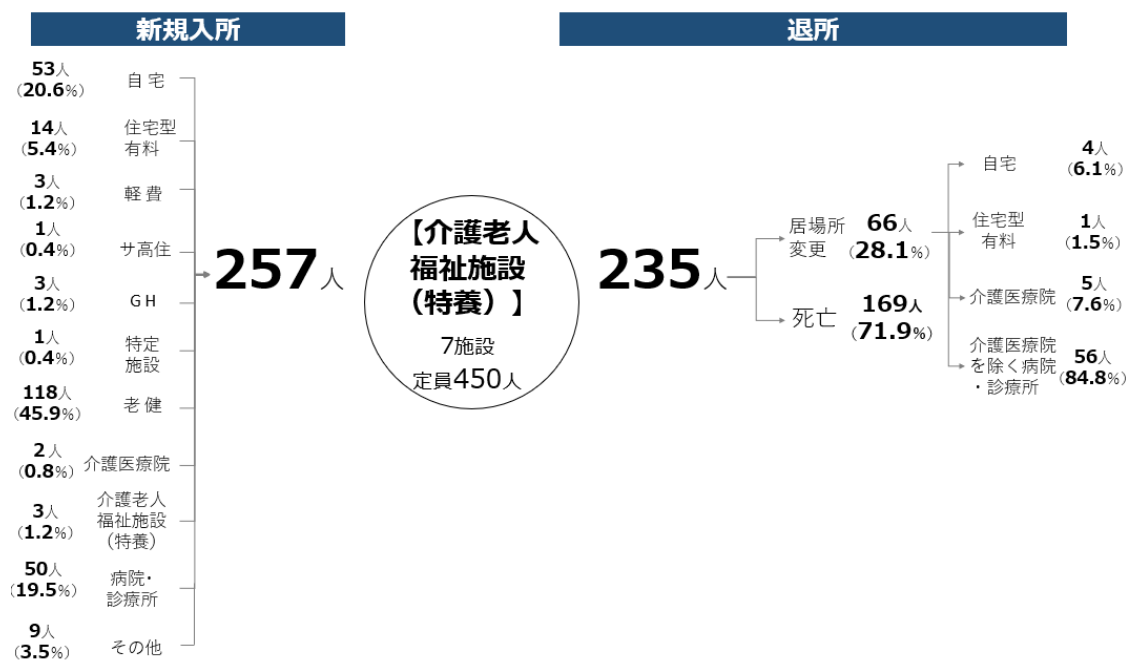
※（参考）令和4年度

＜退去先別 過去2年間の退所・退居者数＞

（単位：人）

		自宅	住宅型有料老人ホーム	軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム	特定施設	地域密着型特定施設	介護老人保健施設	看護小規模多機能型居宅介護	療養型・介護医療院	療養型・介護医療院を除く病院・診療所	特別養護老人ホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	その他	把握していない・不明	死亡	合計
全体	市内	141	15	0	5	3	12	0	16	0	22	57	59	0	35	41	482	1,174
	市外	70	17	0	3	1	11	0	23	0	16	40	55	0	50			
介護老人福祉施設	市内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	21	40	0	0	0	0	225	307
	市外	1	0	0	0	0	1	0	0	0	11	5	1	0	0			
介護老人保健施設	市内	135	13	0	4	1	10	0	15	0	0	9	41	0	35	0	48	537
	市外	59	12	0	2	0	2	0	23	0	0	27	51	0	50			
特定施設入居者生活介護	市内	2	0	0	1	0	2	0	1	0	1	2	0	0	0	8	152	192
	市外	7	0	0	0	0	7	0	0	0	4	5	0	0	0			
認知症対応型共同生活介護	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	0	0	7	23
	市外	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0			
看護小規模多機能型居宅介護	市内	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	18	29
	市外	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
住宅型有料老人ホーム	市内	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	41
	市外	1	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0			
サービス付き高齢者住宅	市内	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	2	0	0	34	8	50
	市外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
ケアハウス	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	市外	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0			

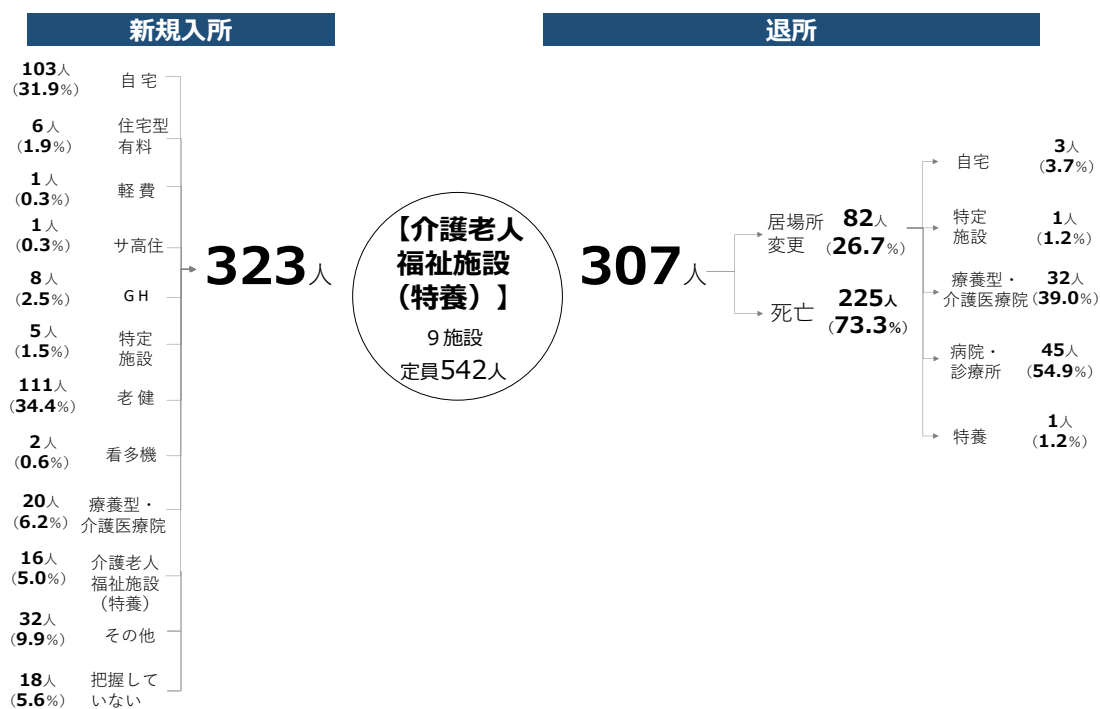
5. 過去2年間の入所・入居及び退所・退居の流れ



(注1) 「定員」は問1、「新規入所」は問5、「退所」は問8の値を用いている。(以下同様)

(注2) 退所先別の割合は、居場所を変更した方に対する割合を示している。(以下同様)

※ (参考) 令和4年度



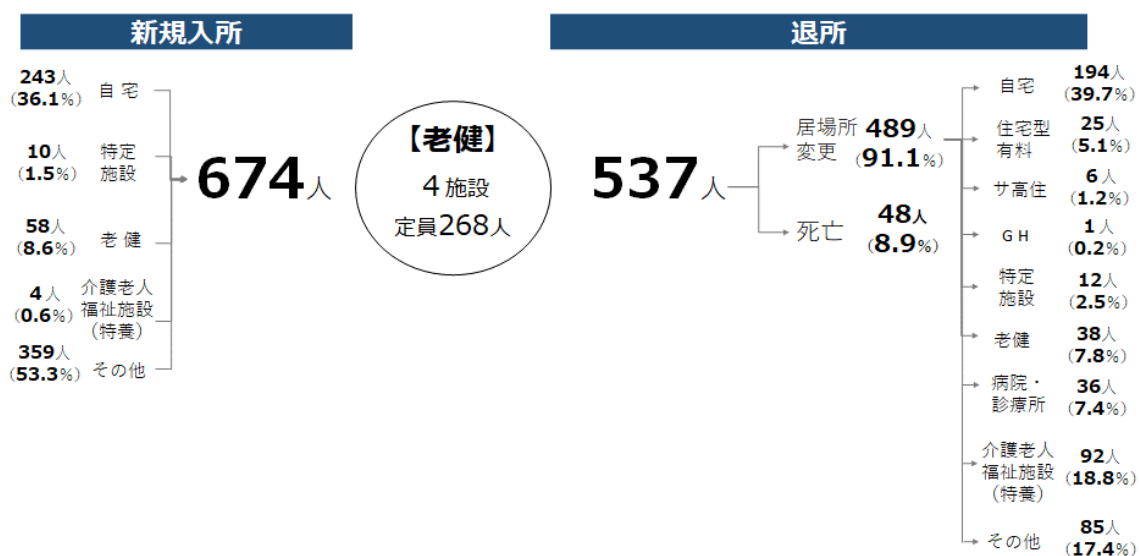
(注1) 「定員」は問1、「新規入所」は問5、「退所」は問8の値を用いている。(以下同様)

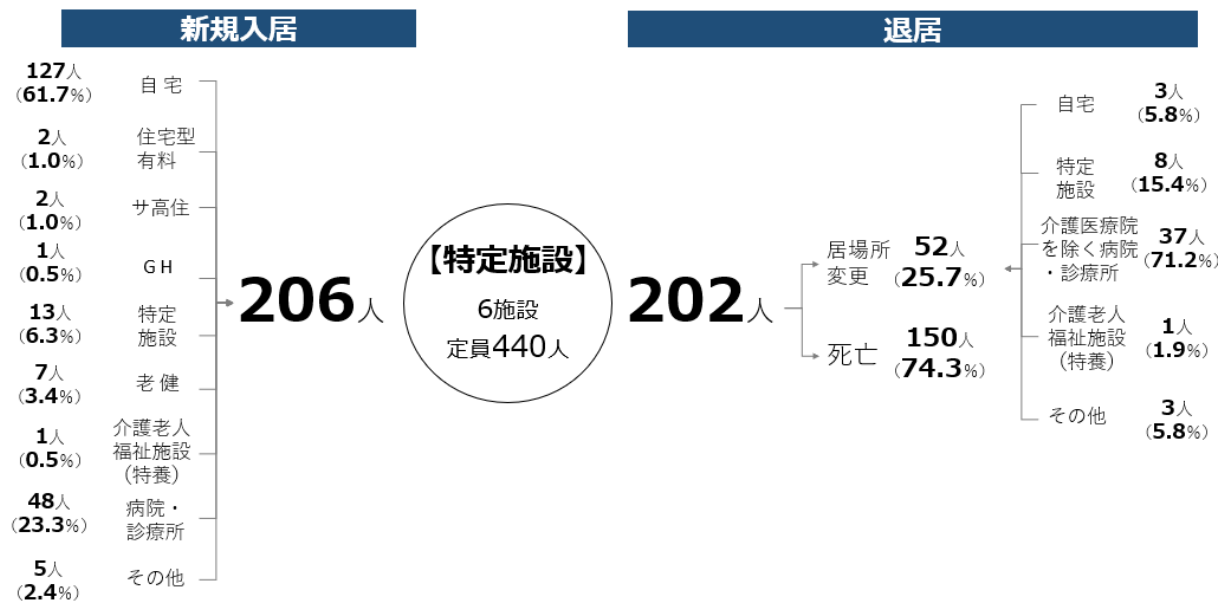
(注2) 退所先別の割合は、居場所を変更した方に対する割合を示している。(以下同様)

介護老人福祉施設における過去2年間の入所及び退所の流れをみると、新規入所者は257人だった。退所者は235人で、そのうち「死亡」による退所は169人(71.9%)だった。居場所を変更した66人(28.1%)のうち、「介護医療院を除く病院・診療所」への変更が56人(84.8%)だった。

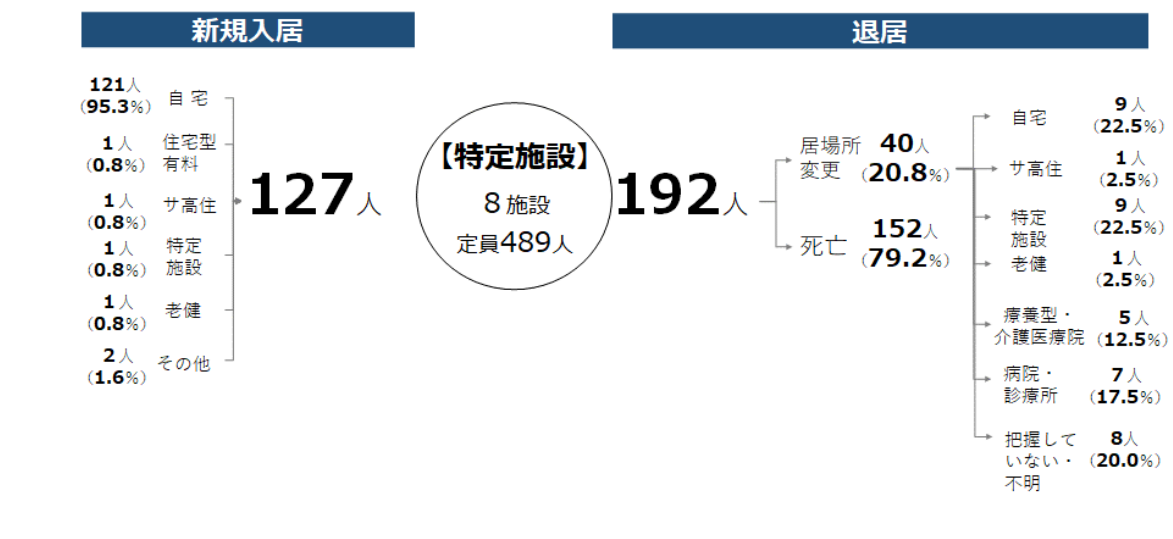


※ (参考) 令和4年度

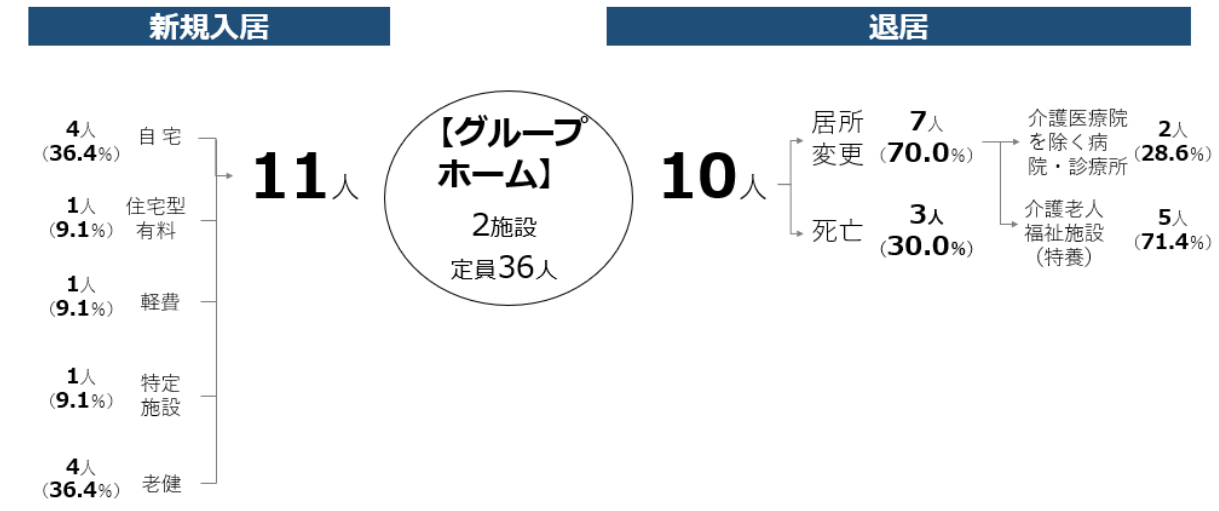




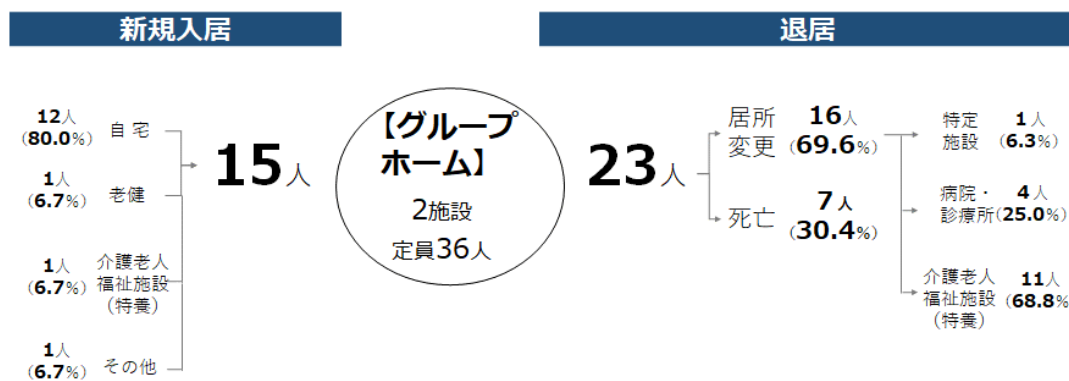
※ (参考) 令和4年度



過去2年間に「特定施設入居者生活介護」6施設から退居した人数は202人だった。そのうち、死亡者は74.3%の150人だった。また、居場所を変更した方の行先で最も多いのは「介護医療院を除く病院・診療所」だった。



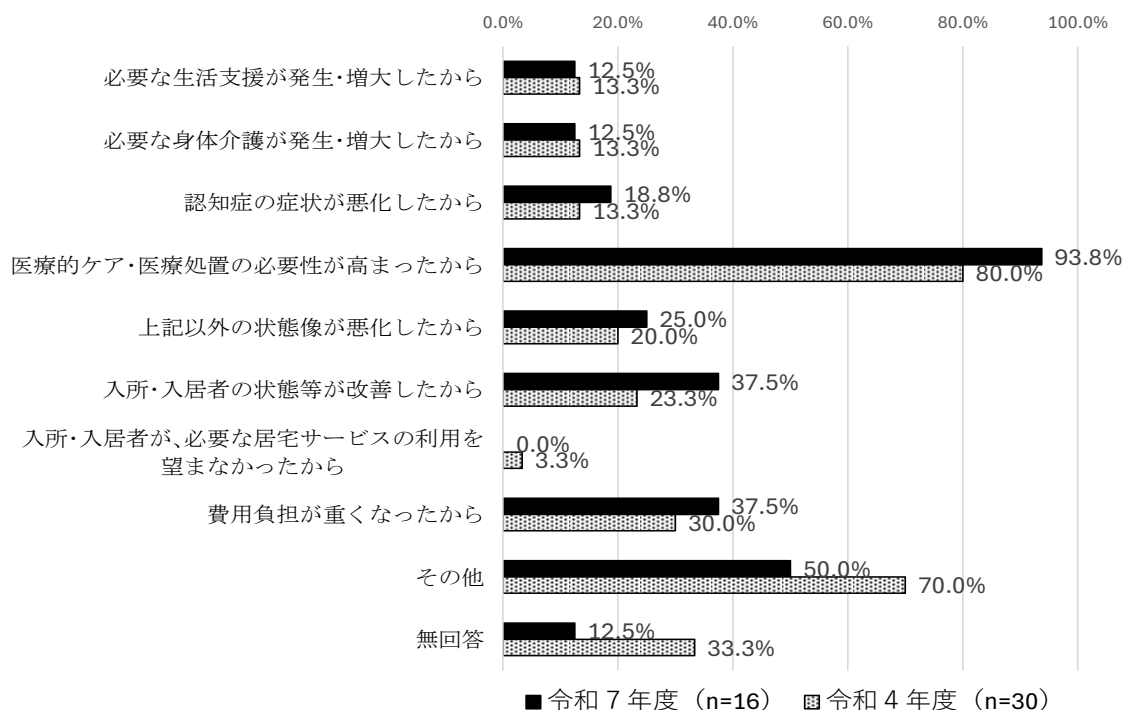
※ (参考) 令和4年度



6. 入居・入所者の退去理由

問9 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する□に✓を付けてください。

<順位不問>



入居・入所者が退去する理由は、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」が93.8%と最も高かった。

<1位～3位>

	1位		2位		3位	
	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%
必要な生活支援が発生・増大したから	0	0.0	0	0.0	2	12.5
必要な身体介護が発生・増大したから	1	6.3	1	6.3	0	0.0
認知症の症状が悪化したから	0	0.0	2	12.5	1	6.3
医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	13	81.3	2	12.5	0	0.0
上記以外の状態像が悪化したから	0	0.0	2	12.5	2	12.5
入所・入居者の状態等が改善したから	0	0.0	2	12.5	4	25.0
入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	0	0.0	0	0.0	0	0.0
費用負担が重くなったから	1	6.3	4	25.0	1	6.3
その他	1	6.3	2	12.5	5	31.3
無回答	0	0.0	1	6.3	1	6.3
全体	16	100.0	16	100.0	16	100.0

＜サービス種別 入居・入所者の退去理由（順位不問）（単位：件）＞

	合計	必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	上記以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	48	2	2	3	15	4	6	0	6	8	2
介護老人福祉施設	21	0	0	2	7	3	2	0	1	4	2
介護老人保健施設	3	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
特定施設入居者生活介護	18	0	0	1	5	1	3	0	5	3	0
認知症対応型共同生活介護	6	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※（参考）令和4年度

＜1位～3位＞

	1位		2位		3位	
	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%	回答数 (件)	%
必要な生活支援が発生・増大したから	0	0.0	0	0.0	4	13.3
必要な身体介護が発生・増大したから	4	13.3	0	0.0	0	0.0
認知症の症状が悪化したから	0	0.0	3	10.0	1	3.3
医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	7	23.3	15	50.0	2	6.7
上記以外の状態像が悪化したから	3	10.0	2	6.7	1	3.3
入所・入居者の状態等が改善したから	3	10.0	0	0.0	4	13.3
入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	0	0.0	1	3.3	0	0.0
費用負担が重くなったから	0	0.0	3	10.0	6	20.0
その他	12	40.0	3	10.0	6	20.0
無回答	1	3.3	3	10.0	6	20.0
全体	30	100.0	30	100.0	30	100.0

＜サービス種別 入居・入所者の退去理由（順位不問）（単位：件）＞

	合計	必要な生活支援が発生・増大したから	必要な身体介護が発生・増大したから	認知症の症状が悪化したから	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	左記以外の状態像が悪化したから	入所・入居者の状態等が改善したから	入所・入居者が必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	費用負担が重くなったから	その他	無回答
全体	90	4	4	4	24	6	7	1	9	21	10
介護老人福祉施設	27	0	0	1	9	3	1	0	1	7	5
介護老人保健施設	12	2	0	0	4	1	4	0	0	1	0
特定施設入居者生活介護	24	0	0	1	6	1	1	0	4	9	2
認知症対応型共同生活介護	6	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
看護小規模多機能型居宅介護	3	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
住宅型有料老人ホーム	9	0	0	0	3	0	1	0	2	3	0
サービス付き高齢者住宅	6	1	2	1	1	0	0	0	1	0	0
ケアハウス	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0

資料：使用した調査票

〒
武蔵野市〇〇

△△（事業所名）
施設長・管理者様

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査 武蔵野市介護施設等における入退所調査 ご協力をお願い

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和8年度に高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画、障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画の策定を予定しています。

この調査は、今後の武蔵野市における人材の確保・育成や、高齢者が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために実施するものです。

業務ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、武蔵野市内で介護サービスを提供している施設・事業所の施設長・管理者の方、また、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下「介護職員・看護職員等」という。）の方に、アンケートの回答にご協力をお願いいたたく存じます。

本調査は①「介護職員・看護職員等実態調査 事業所票」（以下「事業所票」という。）、②「介護施設等における入退所調査」（以下「入退所調査」という。）、③「介護職員・看護職員等実態調査 職員票」（以下「職員票」という。）の3つで構成されています。「事業所票」および「入退所調査」につきましては、施設長・管理者の方にご回答をお願いいたします。また、「職員票」につきましては、貴施設・事業所に所属する全ての介護職員・看護職員等の方へ、同封の依頼状を配付していただけますようお願いいたします。

皆様にご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025年12月22日（月）までに、次ページに記載の方法でご回答ください。

令和7年12月

武蔵野市長 **小美濃安弘**

お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課 伏谷・吉川 電話：0422-60-1925（直通）

「事業所票」及び「入退所調査」の回答方法

本調査票は、	※事業種別名称※	に所属する職員について ご回答ください
--------	----------	------------------------

本アンケートは、インターネットによる回答となります。以下のウェブサイトへアクセスし、2025年12月22日（月）までに、事業所票と入退所調査のどちらもご回答ください。

事業所票	入退所調査
https://survey.esumi.jp/jigyosho2025 	https://survey.esumi.jp/nyutaisho2025 

※下記の「◆個人情報の取り扱いについて」にご同意の上、ご自身のメールアドレスを入力し、「送信」ボタンをクリックすると、ご登録いただいたメールアドレスに、調査票 URL が記載されたメールが届きます。その URL をクリックすると、アンケート画面トップページへ遷移します。途中で回答を中断し、あとから回答したい場合は、調査票 URL をクリックしてください。

◆個人情報の取り扱いについて

1. 今回、ご提供いただくメールアドレスは、本アンケートに係る調査票 URL の発行及び回収管理に限って利用し、厳重に管理いたします。
2. お預かりする個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>)及び「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>)に従って適切に取り扱います。
3. お預かりする個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
4. お預かりした個人情報は、武蔵野市に提供する場合がございます。また、業務委託により弊社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
5. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記の調査事務局までご連絡ください。
6. ご同意いただけない場合、また、お預かりした情報の中にご連絡先のご記入がない場合や不完全な場合等には、ご照会内容について弊社からお答えできない場合があります。

<調査事務局> 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 持田、小川 (E-mail:kourei@murc.jp)

<<事業所名>>

介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の皆様

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査（職員票） ご協力をお願い

日頃から、武蔵野市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市では、令和8年度に高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画、障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画の策定を予定しています。

この調査は、今後の武蔵野市における人材の確保・育成や、高齢者や障害者が暮らし慣れた住まいで最後まで生活を継続する上で必要な機能に係る具体的な方策等を、各計画に盛り込むための基礎データを得るために実施するものです。

業務ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、武蔵野市内で介護サービス・障害福祉サービスを提供している施設・事業所に所属する全ての介護職員、看護職員、リハビリテーション職員（以下「介護職員・看護職員等」という。）の方に、アンケートの回答にご協力をお願いしたく存じます。なお、ボランティアの方は回答対象に含まれません。

皆様にご回答いただいた内容は、統計情報の作成のみに使用し、個人が特定される形での公表や、他の目的での使用はいたしません。本調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2025年12月22日（月）までに、次ページに記載の方法でご回答ください。

令和7年12月

武蔵野市長 **小美濃安弘**

お問い合わせ先

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課 伏谷・吉川 電話：0422-60-1925（直通）

「職員票」の回答方法

本アンケートは、インターネットによる回答となります。
以下のウェブサイトへアクセスし、2025年12月22日（月）までにご回答ください。

職員票
<p>https://survey.esumi.jp/staff2025</p> 

※下記の「◆個人情報の取り扱いについて」にご同意の上、ご自身のメールアドレスを入力し、「送信」ボタンをクリックすると、ご登録いただいたメールアドレスに、調査票 URL が記載されたメールが届きます。その URL をクリックすると、アンケート画面トップページへ遷移します。途中で回答を中断し、あとから回答したい場合は、調査票 URL をクリックしてください。

また、調査票 URL をクリックしたら、最初に以下の調査番号を入力してください。

調査票 URL で最初に入力する調査番号

〇〇〇

◆個人情報の取り扱いについて

1. 今回、ご提供いただくメールアドレスは、本アンケートに係る調査票 URL の発行及び回収管理に限って利用し、厳重に管理いたします。
2. お預かりする個人情報は、弊社の「個人情報保護方針」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy/>)及び「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.murc.jp/corporate/privacy02/>)に従って適切に取り扱います。
3. お預かりする個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。
4. お預かりした個人情報は、武蔵野市に提供する場合がございます。また、業務委託により弊社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
5. お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知のご請求、または個人情報に関する苦情のお申し出、その他の問い合わせにつきましては、下記の調査事務局までご連絡ください。
6. ご同意いただけない場合、また、お預かりした情報の中にご連絡先のご記入がない場合や不完全な場合等には、ご照会内容について弊社からお答えできない場合があります。

<調査事務局> 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 持田、小川 (E-mail: kourei@murc.jp)

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【事業所票】

※本調査は、施設・サービス事業所の施設長・管理者を対象とした調査です。

※本調査における「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

次へ

アンケートにご協力ください

(必須) とある設問には必ずご回答ください。ただし、各設問における「その他」の具体的な内容のご回答は任意です。

*
問1. 介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の総数を実人数でお答えください。
(令和7年10月1日現在)

① ※数値を入力、いない場合は「0 (ゼロ)」を入力 (必須)

※1) 雇用形態にかかわらず (派遣職員を含む)、施設が定める1週間の勤務時間 (所定労働時間) の全てを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」となります。

	常勤職員 (※1)	非常勤職員
介護職員	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
看護職員	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
リハ職員	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

*
問2. 介護職員について、外国人職員と派遣職員の総数を実人数でそれぞれお答えください。
(令和7年10月1日現在)

① ※数値を入力、いない場合は「0 (ゼロ)」を入力 (必須)

※2) 「外国人職員」には、外国籍の職員の数をご記入ください。

外国人職員 (※2)	派遣職員
<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

* 問3. 外国人介護職員について、在留資格別の人数を実人数でお答えください。
(令和7年10月1日現在)

④ ※数値を入力、いない場合は「0 (ゼロ)」を入力 (必須)

EPA (特定活動)	在留資格「介護」	技能実習	特定技能1号	その他の在留資格
人	人	人	人	人

* 問4. 貴施設・事業所はこの調査票を受け取った時点で、開設から1年以上経過していますか。

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. はい 2. いいえ

* 問5. 過去1年間 (令和6年10月1日～令和7年9月30日) において、介護職員の採用者や離職者はいましたか。

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

	いた	いなかった
①採用者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②離職者	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 問6. 過去1年間 (令和6年10月1日～令和7年9月30日) の介護職員の採用者数を年齢別に実人数でお答えください。

採用者数 (人事異動・配置転換・研修等は除く)

④ ※数値を入力、いない場合は「0 (ゼロ)」を入力 (必須)

	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	人	人
20歳～29歳	人	人
30歳～39歳	人	人
40歳～49歳	人	人
50歳～59歳	人	人
60歳～69歳	人	人
70歳以上	人	人
年齢不明	人	人

* 問6. 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）の介護職員の離職者数を年齢別に実人数でお答えください。

離職者数（人事異動・配置転換・研修等は除く）

④ ※数値を入力、いない場合は「0（ゼロ）」を入力（必須）

	常勤職員	非常勤職員
20歳未満	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
20歳～29歳	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
30歳～39歳	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
40歳～49歳	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
50歳～59歳	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
60歳～69歳	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
70歳以上	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
年齢不明	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人

* 問7. 過去1年間（令和6年10月1日～令和7年9月30日）に採用した方の採用ルートをお答えください。

④ あてはまるものをすべて選んでください。（必須）

（※3）ここでいう「スポットワーカー」とは、短時間・単発の就労を内容とする雇用契約のもとで働く労働者を指します。

- 1. ハローワーク
- 2. 東京都福祉人材センター
- 3. 民間職業紹介
- 4. 介護福祉士養成校、福祉系高等学校
- 5. その他の学校紹介
- 6. 職員紹介・口コミ
- 7. ネット・求人情報・チラシ
- 8. 就職セミナー
- 9. 派遣社員の直接雇用
- 10. スポットワーカー（※3）として雇用した者の長期採用
- 11. その他

* 問8. 貴施設・事業所で配置している職員の充足感についてお答えください。

④ あてはまるものを1つ選んでください。（必須）

	介護職	看護職	サ責	計画作成	リハ
充足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
やや充足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
やや不足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
不足している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
該当職配置無し	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

***** 問9. 介護職員の確保に向けて実施している取組みについてお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. ホームページやSNS、パンフレット、チラシ等で施設・事業所の特徴を発信している
- 2. インターンシップや職場体験、施設・事業所見学会を実施している
- 3. 大学や高校、介護福祉士養成校等に訪問して施設・事業所の説明会等を行っている
- 4. 過去に勤務していた職員に対して再就職の働きかけを行っている
- 5. 勤務時間帯や勤務時間等の希望（時短勤務等）を聞き入れるようにしている
- 6. 新人介護職員を対象としたエルダー・メンター制度を導入している
- 7. デジタル技術の活用等により、職員の負担軽減を行っている
- 8. その他
- 9. 特に実施していることはない

問9. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

***** 問10. 介護職員の確保に関して市に求める支援についてお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 大学や高校、介護福祉士養成校等の生徒を対象とした介護や介護の仕事の理解促進
- 2. 地域住民を対象とした介護や介護の仕事の理解促進
- 3. 多様な人材層(若者・女性・高齢者等)のマッチング支援
- 4. 外国人介護職員の受入れにかかる支援
- 5. 介護職・看護職Reスタート支援金等、支援金事業の継続・拡充
- 6. 研修事業の拡充
- 7. 介護職員の悩み相談
- 8. 介護職員を対象とした交流、学び合いの場づくりの支援
- 9. その他
- 10. 特にない

問10. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

* 問11-1. デジタル技術の導入において、課題と感ずることは何ですか。直接的なケア^(※4)について、お答えください。

◎ あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

(※4) ここでいう「直接的なケア」は食事介助、排泄介助、衣類の着脱介助、入浴介助などの身体介護や、掃除、洗濯などの生活援助といった、利用者に直接接しながらサービスを提供する業務のことを指します。

- 1. どのようなデジタル技術があるか分からない
- 2. 導入コストが高い
- 3. 投資に見合うだけの効果がない
- 4. 事業所規模や介護現場の実態に合うデジタル技術がない
- 5. 事業所にあったデジタル技術がどれか選定できない
- 6. 導入の効果をあげるために、どのような手順を踏んでいけばよいか分からない
- 7. 現場職員が技術的に使いこなせない可能性が高い
- 8. 導入の推進役となりうるデジタル技術に詳しい職員が事業所にいない
- 9. 導入について経営トップ層の理解を得られない
- 10. その他
- 11. 特に課題はない

問11-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

◎ 具体的な内容をお答えください。

* 問11-2. デジタル技術の導入において、課題と感ずることは何ですか。間接的業務^(※4)について、お答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

(※4) ここでいう「間接的業務」は情報の記録・入力や各種会議、研修への参加など、利用者とは直接接しない形で行う業務のことを指します。

- 1. どのようなデジタル技術があるか分からない
- 2. 導入コストが高い
- 3. 投資に見合うだけの効果がない
- 4. 事業所規模や介護現場の実態に合うデジタル技術がない
- 5. 事業所にあったデジタル技術がどれか選定できない
- 6. 導入の効果をあげるために、どのような手順を踏んでいけばよいか分からない
- 7. 現場職員が技術的に使いこなせない可能性が高い
- 8. 導入の推進役となりうるデジタル技術に詳しい職員が事業所にいない
- 9. 導入について経営トップ層の理解を得られない
- 10. その他
- 11. 特に課題はない

問11-2. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

* 問12. 今後3年間の、外国人介護職員の受入れの意向をお答えください。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 積極的に受け入れる意向がある
- 2. 受け入れる意向がある
- 3. 受け入れる意向はない
- 4. わからない・未定

* 問13. 外国人介護職員の受入れにおいて課題と感ずることは何ですか。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 利用者や家族とのコミュニケーション
(ケアの説明や同意の取得、雑談等) | <input type="checkbox"/> 11. 職場への定着、勤務継続 |
| <input type="checkbox"/> 2. 日本語を聞く能力
(引継ぎ、申し送りの理解等) | <input type="checkbox"/> 12. メンタルヘルスの不調 (ホームシック等) |
| <input type="checkbox"/> 3. 日本語を読む能力
(介護記録など、業務上の文書を読む能力等) | <input type="checkbox"/> 13. プライベートにおけるトラブル |
| <input type="checkbox"/> 4. 日本語の書く能力
(介護記録など、業務上の文書を書く能力等) | <input type="checkbox"/> 14. 受け入れる際に必要な事務手続き |
| <input type="checkbox"/> 5. 文化・風習への配慮 | <input type="checkbox"/> 15. 受入れにかかる費用 |
| <input type="checkbox"/> 6. 信仰上の配慮 | <input type="checkbox"/> 16. 関係機関との連携 |
| <input type="checkbox"/> 7. 食生活への配慮 | <input type="checkbox"/> 17. その他 |
| <input type="checkbox"/> 8. 仕事に対する姿勢 (遅刻、無断欠勤等) | <input type="checkbox"/> 18. わからない |
| <input type="checkbox"/> 9. 組織への順応性・協調性 | <input type="checkbox"/> 19. 特になし |
| <input type="checkbox"/> 10. 介護技術の水準 | |

問13. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

* 問14. スポットワーカー^(※5)の活用状況についてお答えください。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

(※5) ここでいう「スポットワーカー」とは、短時間・単発の就労を内容とする雇用契約のもとで働く労働者を指します。
(再掲)

- 1. 既に活用している
- 2. 活用を検討している
- 3. 検討はしていないが興味はある
- 4. 興味はない
- 5. わからない

* 問15. スポットワーカーを活用している理由をお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 急な欠員やシフト変更に対応するため
- 2. 慢性的な人手不足に対応するため
- 3. 既存の職員を本来業務やより高度な仕事に集中させるため
- 4. 人件費の削減・抑制のため
- 5. 職員の募集・採用コストの削減・抑制のため
- 6. 長期採用の候補者を発掘するため
- 7. その他

問15. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

* 問16. 現在、スポットワーカーを活用していない理由をお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 任せたい業務がないため
- 2. 既存の職員で業務に対応できているため
- 3. 手数料が負担であるため
- 4. 無断欠勤や遅刻などのリスクがあると感じるため
- 5. 採用までの手続きがわからないため
- 6. トラブル発生時の対処法がわからないため
- 7. その他

問16. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

* 事業所名

④ 具体的な内容をお答えください。(必須)

* 依頼状に記載されている調査番号

④ 数値でお答えください。(必須)

※紙の依頼状の右上に「1/①-1」のような記載があります。
このうち、一番左に書かれている数字(例:「115/②-1」の「115」)を入力してください。

武蔵野市介護職員・看護職員等実態調査【職員票】

- 本調査票は、介護職員・看護職員・リハビリテーション職員の方（ボランティアの方を除く）が対象です。
- 令和7年10月1日現在の状況についてご回答ください。
- 本調査票は、職員の方おひとりにつき1回ご回答ください。複数の事業所で働いている方は、いずれかの事業所のみでお答えください。

次へ

アンケートにご協力ください

(必須) とある設問には必ずご回答ください。ただし、各設問における「その他」の具体的な内容のご回答は任意です。

* 問0. 依頼状に記載されている調査番号

① 先頭の「0」も含めて整数3桁を半角で入力してください。(必須)

* 問1. あなたの性別をお答えください。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 男性

2. 女性

3. その他

* 問2. あなたの年齢をお答えください(令和7年10月1日現在)。

① 数値は半角・整数で入力してください。

 歳

問3. あなたの所属をお答えください(兼務先を含む)。

(1). 介護保険法に定められたサービス

① あてはまるものをすべて選んでください。

1. 訪問介護 (要介護1～5の方を対象)

2. 訪問型サービス (総合事業)

3. 訪問入浴

4. 訪問リハビリテーション

5. 訪問看護

6. 通所介護 (要介護1～5の方を対象)

7. 通所型サービス (総合事業)

8. 地域密着型通所介護

9. 通所リハビリテーション (デイケア)

10. 短期入所生活介護 (ショートステイ)

11. 短期入所療養介護 (ショートステイ)

12. 特定施設入居者生活介護 (特定施設)

13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (定期巡回サービス)

14. 夜間対応型訪問介護 (夜間対応型)

15. 看護小規模多機能型居宅介護 (看多機)

16. 認知症対応型通所介護 (認知症デイ)

17. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)

18. 介護老人福祉施設 (特養)

19. 介護老人保健施設 (老健)

(2). 障害者（児）を対象としたサービス

④ あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 居宅介護、重度訪問介護 | <input type="checkbox"/> 10. 就労移行支援 |
| <input type="checkbox"/> 2. 行動援護 | <input type="checkbox"/> 11. 就労継続支援A型・就労継続支援B型 |
| <input type="checkbox"/> 3. 同行援護 | <input type="checkbox"/> 12. 就労定着支援 |
| <input type="checkbox"/> 4. 生活介護 | <input type="checkbox"/> 13. 地域移行支援・地域定着支援 |
| <input type="checkbox"/> 5. 短期入所 | <input type="checkbox"/> 14. 児童発達支援・放課後等デイサービス |
| <input type="checkbox"/> 6. 施設入所支援 | <input type="checkbox"/> 15. 計画相談支援・障害児相談支援 |
| <input type="checkbox"/> 7. 共同生活援助 | <input type="checkbox"/> 16. 移動支援 |
| <input type="checkbox"/> 8. 自立生活援助 | <input type="checkbox"/> 17. 日中一時支援 |
| <input type="checkbox"/> 9. 自立訓練（機能訓練）・自立訓練（生活訓練） | |

(3). その他のサービス

④ あてはまるものをすべて選んでください。

※特定施設を除く

1. サービス付き高齢者向け住宅※（サ高住）
2. 住宅型有料老人ホーム（住宅型有料）
3. 軽費老人ホーム※

* 問4(1). 介護保険法に定められたサービス、その他のサービスから選択した方の主な職種

④ あてはまるものを1つ選んでください。（必須）

※理学療法士、作業療法士等（機能訓練指導員含む）

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 介護職員 | <input type="radio"/> 4. 計画作成責任者 |
| <input type="radio"/> 2. 看護職員 | <input type="radio"/> 5. リハビリテーション職員※ |
| <input type="radio"/> 3. サービス提供責任者 | <input type="radio"/> 6. 施設長、管理者 |

* 問4(2). 障害者（児）を対象としたサービスから選択した方の主な職種

④ あてはまるものを1つ選んでください。（必須）

※理学療法士、作業療法士等（機能訓練指導員含む）

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 1. 介護職員 | <input type="radio"/> 6. サービス提供責任者 |
| <input type="radio"/> 2. 看護職員 | <input type="radio"/> 7. サービス管理責任者 |
| <input type="radio"/> 3. 生活支援員 | <input type="radio"/> 8. 指導員 |
| <input type="radio"/> 4. 就労支援員、職業指導員 | <input type="radio"/> 9. 児童発達管理責任者 |
| <input type="radio"/> 5. リハビリテーション職員※ | <input type="radio"/> 10. 管理者 |

*

問5(1). あなたが保有している資格をお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 介護福祉士 | <input type="checkbox"/> 12. 理学療法士 |
| <input type="checkbox"/> 2. 実務者研修修了、介護職員初任者研修修了 | <input type="checkbox"/> 13. 作業療法士 |
| <input type="checkbox"/> 3. 居宅介護従業者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 14. 言語聴覚士 |
| <input type="checkbox"/> 4. 同行援護従事者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 15. 保健師 |
| <input type="checkbox"/> 5. 行動援護従事者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 16. 心理士 |
| <input type="checkbox"/> 6. 重度訪問介護従業者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 17. 社会福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 7. 武蔵野市認定ヘルパー | <input type="checkbox"/> 18. 精神保健福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 8. 介護支援専門員 | <input type="checkbox"/> 19. 保育士 |
| <input type="checkbox"/> 9. 助産師 | <input type="checkbox"/> 20. 幼稚園、学校教諭 |
| <input type="checkbox"/> 10. 看護師 | <input type="checkbox"/> 21. その他 |
| <input type="checkbox"/> 11. 准看護師 | <input type="checkbox"/> 22. 資格なし |

*

問5(2). あなたが今後取得してみたいと考えている資格をお答えください。

① あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 介護福祉士 | <input type="checkbox"/> 12. 理学療法士 |
| <input type="checkbox"/> 2. 実務者研修修了、介護職員初任者研修修了 | <input type="checkbox"/> 13. 作業療法士 |
| <input type="checkbox"/> 3. 居宅介護従業者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 14. 言語聴覚士 |
| <input type="checkbox"/> 4. 同行援護従事者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 15. 保健師 |
| <input type="checkbox"/> 5. 行動援護従事者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 16. 心理士 (公認心理師、臨床心理士) |
| <input type="checkbox"/> 6. 重度訪問介護従業者養成研修修了 | <input type="checkbox"/> 17. 社会福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 7. 武蔵野市認定ヘルパー | <input type="checkbox"/> 18. 精神保健福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 8. 介護支援専門員 | <input type="checkbox"/> 19. 保育士 |
| <input type="checkbox"/> 9. 助産師 | <input type="checkbox"/> 20. 幼稚園、学校教諭 |
| <input type="checkbox"/> 10. 看護師 | <input type="checkbox"/> 21. その他 |
| <input type="checkbox"/> 11. 准看護師 | <input type="checkbox"/> 22. 資格なし |

* 問5(3). 介護支援専門員の資格を持っていても介護支援専門員として働かない主な理由は何ですか。(現在介護支援専門員としても働いている場合は、「11 介護支援専門員を兼務している」を選択してください。)

④ ※あてはまるもの最大3つまで選んでください。(必須)

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 今の職種に満足している | <input type="checkbox"/> 7. 利用者、家族への対応が大変 |
| <input type="checkbox"/> 2. 賃金が安い | <input type="checkbox"/> 8. 教育プログラムが整っていない |
| <input type="checkbox"/> 3. 労働時間が長い・休日でも急な相談対応がある | <input type="checkbox"/> 9. 職場の人間関係 |
| <input type="checkbox"/> 4. 精神的な負担が大きい | <input type="checkbox"/> 10. その他 |
| <input type="checkbox"/> 5. 資格の更新が負担 | <input type="checkbox"/> 11. 介護支援専門員を兼務している |
| <input type="checkbox"/> 6. 子育てや介護との両立が難しい | |

問5(3). その他の具体的な内容をお教えてください。

④ 具体的な内容をお答えください。

* 問6. あなたが介護・福祉関係の仕事に現業として従事したトータル経験年数をお答えください。

④ 数値は半角・整数で入力してください。

	年	か月
介護・福祉関係の仕事に現業として従事したトータル経験年数	<input type="text"/>	<input type="text"/>
うち、武蔵野市内での経験年数	<input type="text"/>	<input type="text"/>

* 問7. あなたの雇用形態をお答えください。

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 1. 正規職員 | <input type="radio"/> 3. 派遣職員 |
| <input type="radio"/> 2. 契約社員、嘱託、パート、アルバイト | <input type="radio"/> 4. その他(雇用契約外の職員) |

* 問8. あなたの直近1週間分の勤務時間(兼務先の勤務時間含む)をお答えください。

④ 数値は半角・整数で入力してください。

 時間

* 問9. 現在の1つ前の勤務先をお答えください。

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- | |
|--|
| <input type="radio"/> 1. 介護の職場 |
| <input type="radio"/> 2. 介護以外の職場 |
| <input type="radio"/> 3. 現在の職場が初めての勤務先 |

* 問9-1. 現在の1つ前の勤務先の所属をお答えください。(兼務していた場合は、主な所属をお答えください。)

(1). 介護保険法に定められたサービス

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

誤って介護保険法に定められたサービスの1～20を選択した場合は「21. 介護保険法に定められたサービス以外」を選択してください

- | | |
|--|---|
| <input type="radio"/> 1. 訪問介護 (要介護1～5の方を対象) | <input type="radio"/> 12. 特定施設入居者生活介護 (特定施設) |
| <input type="radio"/> 2. 訪問型サービス (総合事業) | <input type="radio"/> 13. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (定期巡回サービス) |
| <input type="radio"/> 3. 訪問入浴 | <input type="radio"/> 14. 夜間対応型訪問介護 (夜間対応型) |
| <input type="radio"/> 4. 訪問リハビリテーション | <input type="radio"/> 15. 看護小規模多機能型居宅介護 (看多機) |
| <input type="radio"/> 5. 訪問看護 | <input type="radio"/> 16. 認知症対応型通所介護 (認知症デイ) |
| <input type="radio"/> 6. 通所介護 (要介護1～5の方を対象) | <input type="radio"/> 17. 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) |
| <input type="radio"/> 7. 通所型サービス (総合事業) | <input type="radio"/> 18. 介護老人福祉施設 (特養) |
| <input type="radio"/> 8. 地域密着型通所介護 | <input type="radio"/> 19. 介護老人保健施設 (老健) |
| <input type="radio"/> 9. 通所リハビリテーション (デイケア) | <input type="radio"/> 20. その他 |
| <input type="radio"/> 10. 短期入所生活介護 (ショートステイ) | <input type="radio"/> 21. 介護保険法に定められたサービス以外 |
| <input type="radio"/> 11. 短期入所療養介護 (ショートステイ) | |

問9-1(1). その他の具体的な内容をお教えてください。

④ 具体的な内容をお答えください。

* (2). 障害者(児)を対象としたサービス

④ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

誤って障害者(児)を対象としたサービスの1～18を選択した場合は「19. 障害者(児)を対象としたサービス以外」を選択してください

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 1. 居宅介護、重度訪問介護 | <input type="radio"/> 11. 就労継続支援A型・就労継続支援B型 |
| <input type="radio"/> 2. 行動援護 | <input type="radio"/> 12. 就労定着支援 |
| <input type="radio"/> 3. 同行援護 | <input type="radio"/> 13. 地域移行支援・地域定着支援 |
| <input type="radio"/> 4. 生活介護 | <input type="radio"/> 14. 児童発達支援・放課後等デイサービス |
| <input type="radio"/> 5. 短期入所 | <input type="radio"/> 15. 計画相談支援・障害児相談支援 |
| <input type="radio"/> 6. 施設入所支援 | <input type="radio"/> 16. 移動支援 |
| <input type="radio"/> 7. 共同生活援助 | <input type="radio"/> 17. 日中一時支援 |
| <input type="radio"/> 8. 自立生活援助 | <input type="radio"/> 18. その他 |
| <input type="radio"/> 9. 自立訓練(機能訓練)・自立訓練(生活訓練) | <input type="radio"/> 19. 障害者(児)を対象としたサービス以外 |
| <input type="radio"/> 10. 就労移行支援 | |

問9-1(2). その他の具体的な内容をお教えてください。

④ 具体的な内容をお答えください。

* (3). その他のサービス

● あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

※特定施設を除く

誤ってその他のサービスの1~3を選択した場合は「4. その他のサービス以外」を選択してください

- 1. サービス付き高齢者向け住宅※ (サ高住)
- 2. 住宅型有料老人ホーム (住宅型有料)
- 3. 軽費老人ホーム※
- 4. その他のサービス以外

* 問9-2. 現在の1つ前の勤務先の所在地をお答えください。

● あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 武蔵野市内
- 2. 武蔵野市外

* 問9-3. 現在の1つ前の勤務先で勤めた年数をお答えください。

● 数値は半角・整数で入力してください。

	年	か月
現在の1つ前の勤務先で勤めた年数	<input type="text"/>	<input type="text"/>

* 問10. 地域包括ケア人材育成センターの活用状況をお答えください。

● あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- 1. 初任者研修、武蔵野市認定ヘルパー養成研修、認定ヘルパーフォローアップ研修の受講
- 2. 技術研修、認知症支援研修、潜在的有資格者復帰研修の受講
- 3. 介護従事者の悩み相談室の利用
- 4. お仕事フェア、就職相談会への参加
- 5. 管理者・経営者向け研修の受講
- 6. 介護福祉職のつながり支援
- 7. 地域包括ケア人材育成センターの存在は知っていたが、特に活用したことはない
- 8. 地域包括ケア人材育成センターの存在を知らない
- 9. その他

問10. その他の具体的な内容をお教えてください。

● 具体的な内容をお答えください。

* 問11. 地域包括ケア人材育成センターに求めることは何ですか。

◎ あてはまるものをすべて選んでください。(必須)

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1. 初任者研修の実施等の資格取得支援 | <input type="checkbox"/> 6. 事業所運営に関わる支援や管理者向けの研修の実施 |
| <input type="checkbox"/> 2. 在宅で医療的ケアが必要な方にサービスを提供する際の知識を得るための研修の実施 | <input type="checkbox"/> 7. 介護従事者等の悩み相談の拡充 |
| <input type="checkbox"/> 3. 介護技術のスキルアップのための研修の実施 | <input type="checkbox"/> 8. その他 |
| <input type="checkbox"/> 4. 就業支援のための市内や近隣にある施設・事業所の見学会等の実施 | <input type="checkbox"/> 9. 特になし |
| <input type="checkbox"/> 5. 認知症のある方へのケアに関する研修会の開催 | |

問11-3. 「スキルアップ研修」の具体的な内容もお教えてください。

◎ 具体的な内容をお答えください。

問11-8. その他の具体的な内容をお教えてください。

◎ 具体的な内容をお答えください。

* 問12. 約5年後の武蔵野市における介護・障害分野の仕事の継続意向をお答えください。

◎ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- | | |
|--------------------------------------|---|
| <input type="radio"/> 1. 武蔵野市で働き続けたい | <input type="radio"/> 4. 介護・障害分野以外の仕事に変わりたい |
| <input type="radio"/> 2. 武蔵野市外で働きたい | <input type="radio"/> 5. 年齢等により仕事を継続するのが難しい |
| <input type="radio"/> 3. 先のことは考えていない | |

* 問12-1. 今後希望するキャリアとして、最もあてはまるものをお答えください。

◎ あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

- 1. 施設長、管理者を目指したい
- 2. 施設長、管理者以外の管理職・リーダー層・指導的立場を目指したい
- 3. 介護支援専門員（ケアマネジャー）として働きたい
- 4. 現状の職種・役割で働き続けたい
- 5. その他

問12-1. その他の具体的な内容をお教えてください。

◎ 具体的な内容をお答えください。

*

問12-2. 武蔵野市で働き続ける上で、特にモチベーションの向上につながっていることは何ですか。

① ※あてはまるもの最大3つまで選んでください。(必須)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 利用者・家族からの感謝 | <input type="checkbox"/> 6. ケアリンピックの開催等、市が仕事ぶりを評価してくれること |
| <input type="checkbox"/> 2. 事業所の理念や運営方針への共感 | <input type="checkbox"/> 7. 市内の研修等が充実していること |
| <input type="checkbox"/> 3. キャリアのステップアップが見込めること | <input type="checkbox"/> 8. 賃金等の処遇 |
| <input type="checkbox"/> 4. 市の担当職員との円滑なコミュニケーション | <input type="checkbox"/> 9. 職場の人間関係、雰囲気が良い |
| <input type="checkbox"/> 5. 在宅介護・地域包括支援センターの職員との円滑なコミュニケーション | <input type="checkbox"/> 10. その他 |

問12-2. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

*

問12-3. 「介護・障害分野以外の仕事に変わりたい」を選択した理由は何ですか。

① ※あてはまるもの最大3つまで選んでください。(必須)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 賃金が低い | <input type="checkbox"/> 6. 業務内容が体力的に辛い |
| <input type="checkbox"/> 2. 社会的評価が低いと感じる | <input type="checkbox"/> 7. 職場の人間関係に疲弊した |
| <input type="checkbox"/> 3. 事業所の理念や運営方針に不満がある | <input type="checkbox"/> 8. 家族等からの支援に関する要望等が高く、業務負担がある |
| <input type="checkbox"/> 4. キャリアアップの道筋が見えない | <input type="checkbox"/> 9. その他 |
| <input type="checkbox"/> 5. 慢性的な人材不足により業務負担が多い | |

問12-3. その他の具体的な内容をお教えてください。

① 具体的な内容をお答えください。

* 問13. 外国人介護職員の受け入れに対して、どのように考えていますか。

① ※あてはまるもの最大3つまで選んでください。(必須)

- 1. 人材が不足している中では、積極的に受け入れていくべきである
- 2. 言語の違いにより、うまくコミュニケーションが取れるかが不安
- 3. 利用者やその家族が受け入れてくれるかが不安
- 4. 職場の受け入れ環境（文化、宗教等）が整えられるかが不安
- 5. よくわからない
- 6. その他

問13. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

* 問14. 介護職員・看護職員等が武蔵野市で働き続けるために市に求めることは何ですか。

① ※あてはまるもの最大3つまで選んでください。(必須)

- 1. 教育・研修の拡大・充実
- 2. 多職種による情報交換の機会の拡大
- 3. 事業者連絡会等の充実
- 4. 相談窓口の充実
- 5. 人材確保のための施策の推進
- 6. 市独自の福祉施策の推進
- 7. 制度改正に関する国への働きかけ
- 8. その他

問14. その他の具体的な内容をお教えてください。

② 具体的な内容をお答えください。

* 問15. 直近1週間の訪問サービスにおける提供時間の内訳を入力してください。

■介護保険

④ 数値は半角・整数で入力してください。

- 下表太枠の中に、提供した時間（分）を入力してください。提供しなかった場合は「0（ゼロ）」を入力してください。
- 移動時間、待機時間は含みません。例えば、「生活援助」における「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間のみです。
- 入力する時間は「5分単位」とします。（例）32分～30分、33分～35分と入力してください。

	身体介護	生活援助
早朝：6時～8時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
日中：8時～18時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
夜間：18時～22時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
深夜：22時～6時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分

* ■障害福祉（重度訪問介護は除く）

④ 数値は半角・整数で入力してください。

	身体介護	生活援助
早朝：6時～8時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
日中：8時～18時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
夜間：18時～22時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
深夜：22時～6時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分

* ■重度訪問介護

④ 数値は半角・整数で入力してください。

	身体介護	生活援助
早朝：6時～8時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
日中：8時～18時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
夜間：18時～22時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分
深夜：22時～6時	<input type="text"/> 分	<input type="text"/> 分

武蔵野市介護施設等における入退所調査

※ **令和7年10月1日現在の状況**について、ご回答ください。

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- 特定施設入居者生活介護
- 認知症対応型共同生活介護
- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 介護老人保健施設
- 看護小規模多機能型居宅介護

次へ

アンケートにご協力ください

(必須) とある設問には必ずご回答ください。

* 問1. 貴施設等の概要について、以下にお答えください。

1) 定員数

① 数値でお答えください。(必須)

人

* 2) 入所・入居者数

① 数値でお答えください。(必須)

人

* 3) (貴施設等の) 待機者数

① ※ 該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を、不明の場合は半角ハイフン「-」を入力してください。

人

* 4) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数)

① ※ 該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を、不明の場合は半角ハイフン「-」を入力してください。

人 ※特別養護老人ホームは半角アスタリスク (*) を入力

* 問2. 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、お答えください。

④ 数値でお答えください。(必須)

※ 該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を入力してください。

- 1) 自立 人
- 2) 要支援1 人
- 3) 要支援2 人
- 4) 要介護1 人
- 5) 要介護2 人
- 6) 要介護3 人
- 7) 要介護4 人
- 8) 要介護5 人
- 9) 申請中・不明 人

* 問3. 以下の医療処置を受けている人数について、お答えください。

④ 数値でお答えください。(必須)

※ 該当者がいない場合は「0 (ゼロ)」を入力してください。

- 1) 点滴の管理 人
- 2) 透析 人
- 3) 酸素療法 人
- 4) 気管切開の処置 人
- 5) 経管栄養 人
- 6) 褥瘡の処置 人
- 7) 喀痰吸引 人
- 8) 中心静脈栄養 人
- 9) ストーマの処置 人
- 10) レスピレーター 人
- 11) 疼痛の看護 人
- 12) モニター測定 人
- 13) カテーテル 人
- 14) インスリン注射 人

戻る

次へ

次ページ以降は、開設から2年以上経過した施設等が対象です。
開設から2年未満の施設等は、ここまでで終了です。

* 貴施設は開設から2年以上経過していますか。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)

1. 経過している (令和5年10月以前に開設)
2. 経過していない (令和5年11月以降に開設)

戻る

次へ

ここからは、過去2年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

※ 開設から2年以上経過した施設等が対象です。

* 問4. 過去2年間 (令和5年10月1日～令和7年9月30日) に、新規で入所・入居した人の人数をお答えください。

① 数値でお答えください。(必須)

※ 貴施設等に入所・入居している人で、一時的な入院等で貴施設等に戻った人は含めないでください。

新規の入所・入居者数 (合計) 人 ★

* 問5. 問4の過去2年間の新規の入所・入居者について、入所・入居前の居場所別人数をお答えください。

④ 数値でお答えください。(必須)

※ 下記「16) 合計」と、問4の「新規の入所・入居者数(合計)」が一致することを確認ください。

※ 一旦入院し、退院後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所を入力してください。入院前の居場所がわからない場合は、「13) 病院・診療所(一時的な入院を除く)」を選択してください。

※ 「1) 自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

※ 該当者がいない場合は「0(ゼロ)」を入力してください。

※ 15)～16)は市内と市外を区別せず、合計を入力してください。

	市内	市外
1) 自宅(※兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
5) グループホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
6) 特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
7) 地域密着型特定施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
8) 介護老人保健施設	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
9) 看護小規模多機能型居宅介護	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
10) 介護医療院	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
11) 特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
13) 病院・診療所(一時的な入院を除く)	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
14) その他	<input type="text"/> 人	<input type="text"/> 人
15) 入居・入所する前の居場所を把握していない	<input type="text"/> 人	
16) 合計 ★	<input type="text"/> 人	

戻る

次へ

ここからは、過去2年間の退去者についてお伺いします。

※ 開設から2年以上経過した施設等が対象です。

* 問6. 過去2年間(令和5年10月1日～令和7年9月30日)に、貴施設等を退去した人の人数をお答えください。

④ 数値でお答えください。(必須)

※ 一時的な入院等で貴施設等に戻った人、現在一時的に入院中の人(貴施設等との契約が継続している人)は含めないでください。

退去者数(合計)(※死亡・搬送先での死亡を含む) 人 ☆

* 問7. 問6でお答えいただいた過去2年間の退去者について、要介護度別の人数をお答えください。

① 数値でお答えください。(必須)

※ 死亡(搬送先での死亡を含む)した人については、「死亡」欄にその人数を入力してください。搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「退去者」に含めてください。

※ 下記の合計人数(☆欄)と、問6でお答えいただいた「退去者数(合計)」(☆欄)が一致することを確認ください。

※ 該当者がいない場合は「0(ゼロ)」を入力してください。

- | | | |
|----------|----------------------|---|
| 1) 自立 | <input type="text"/> | 人 |
| 2) 要支援1 | <input type="text"/> | 人 |
| 3) 要支援2 | <input type="text"/> | 人 |
| 4) 要介護1 | <input type="text"/> | 人 |
| 5) 要介護2 | <input type="text"/> | 人 |
| 6) 要介護3 | <input type="text"/> | 人 |
| 7) 要介護4 | <input type="text"/> | 人 |
| 8) 要介護5 | <input type="text"/> | 人 |
| 9) 新規申請中 | <input type="text"/> | 人 |
| 10) 死亡 | <input type="text"/> | 人 |
| 11) 合計 ☆ | <input type="text"/> | 人 |

* 問8. 問6でお答えいただいた過去2年間の退去者について、退去先別の人数をお答えください。

① 数値でお答えください。(必須)

※ 下記「17) 合計」(☆欄)と問6でお答えいただいた「退去者数(合計)」(☆欄)が一致することを確認ください。

※ 搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所を入力してください。

※ 該当者がいない場合は「0(ゼロ)」を入力してください。

※ 15)～17)は市内と市外を区別せず、合計を入力してください。

	市内	市外
1) 自宅(※兄弟姉妹・子ども・親戚等の家含む)	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
2) 住宅型有料老人ホーム	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
5) グループホーム	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
6) 特定施設	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
7) 地域密着型特定施設	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
8) 介護老人保健施設	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
9) 看護小規模多機能型居宅介護	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
10) 介護医療院	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
11) 「10」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
12) 特別養護老人ホーム	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
13) 地域密着型特別養護老人ホーム	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
14) その他	<input type="text" value="人"/>	<input type="text" value="人"/>
15) 行先を把握していない	<input type="text" value="人"/>	
16) 死亡(※搬送先での死亡を含む)	<input type="text" value="人"/>	
17) 合計 ☆	<input type="text" value="人"/>	

戻る

次へ

最後の質問です。

* 問9. 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。

① あてはまるものを1つ選んでください。(必須)
※死亡した方は除く。退去者についてお答えください。

	第1位	第2位	第3位
1. 必要な生活支援が発生・増大したから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 必要な身体介護が発生・増大したから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 認知症の症状が悪化したから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 入所・入居者の状態等が改善したから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 費用負担が重くなったから	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. その他	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

* 事業所名

① 具体的な内容をお答えください。(必須)

* 依頼状に記載されている調査番号

① 数値でお答えください。(必須)
※紙の依頼状の右上に「1/①-1」のような記載があります。
このうち、一番左に書かれている数字(例:「115/②-1」の「115」)を入力してください。

介護職員・看護職員等実態調査

介護施設等における入退所調査

(武蔵野市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画及び認知症施策推進計画、
武蔵野市障害者計画・第8期障害福祉計画・第4期障害児福祉計画策定に係る調査)

報告書

発行年月：令和8年3月

発行・編集

武蔵野市 健康福祉部 高齢者支援課

〒180-8777

武蔵野市 緑町 2-2-28

Tel 0422-60-1925 (直通)